

令和 2 年 度
教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書



令和 3 年 9 月
加須市教育委員会

目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	点検及び評価の基本方針	
	（1）目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（2）対象事業・・・・・・・・	1
	（3）対象期間・・・・・・・・	2
	（4）実施方法・・・・・・・・	2
3	令和2年度教育委員会関連事業一覧・・・・・・・・	3
4	令和2年度における新型コロナウイルス感染症の影響・・・・・・・・	1 1
5	各事業の点検評価	
	（1）基本目標の達成度評価・・・・・・・・	1 2
	（2）基本目標の取組状況・・・・・・・・	1 4
	（3）各事業の達成度評価・・・・・・・・	1 7
6	令和元年度評価を踏まえた取組状況・・・・・・・・	7 3
7	学識経験者の意見・・・・・・・・	8 4
8	おわりに・・・・・・・・	9 0

1 はじめに

加須市教育委員会では、平成27年12月に制定した「加須市人づくり宣言～教育大綱～」に掲げる三つの市民の姿の実現を目指し、「加須市人づくりプラン」（以下「第1次プラン」という。）に基づき、各事業を推進してきました。第1次プランが終了する令和2年度には、令和3年度から令和7年度を計画期間とする「第2次加須市人づくりプラン」（以下「第2次プラン」という。）を策定しました。今後、この第2次プランに基づき、加須市の教育行政を総合的かつ計画的に推進していきます。

各事業の推進にあたっては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、毎年度、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しております。

※この点検及び評価は、事業ごとに作成した事業管理シートを基本とした、PDCAサイクル（計画・実行・評価・見直しのサイクル）による本市独自の行政評価システム「加須やぐるまマネジメントシステム」により実施します。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の基本方針

（1）目的

加須市教育委員会が住民への説明責任を果たし、効果的な教育行政を推進するため、自己点検評価を行います。

（2）対象事業

加須市人づくりプランに位置付けられている教育委員会に関連する全ての事業（98事業）を対象とします。

子育て支援課	1事業	生涯学習課	21事業	図書館課	8事業
保育幼稚園課	4事業	文化・学習センター	3事業	学校教育課	31事業
教育総務課	10事業	スポーツ振興課	18事業	学校給食課	2事業
				合計	98事業

(3) 対象期間

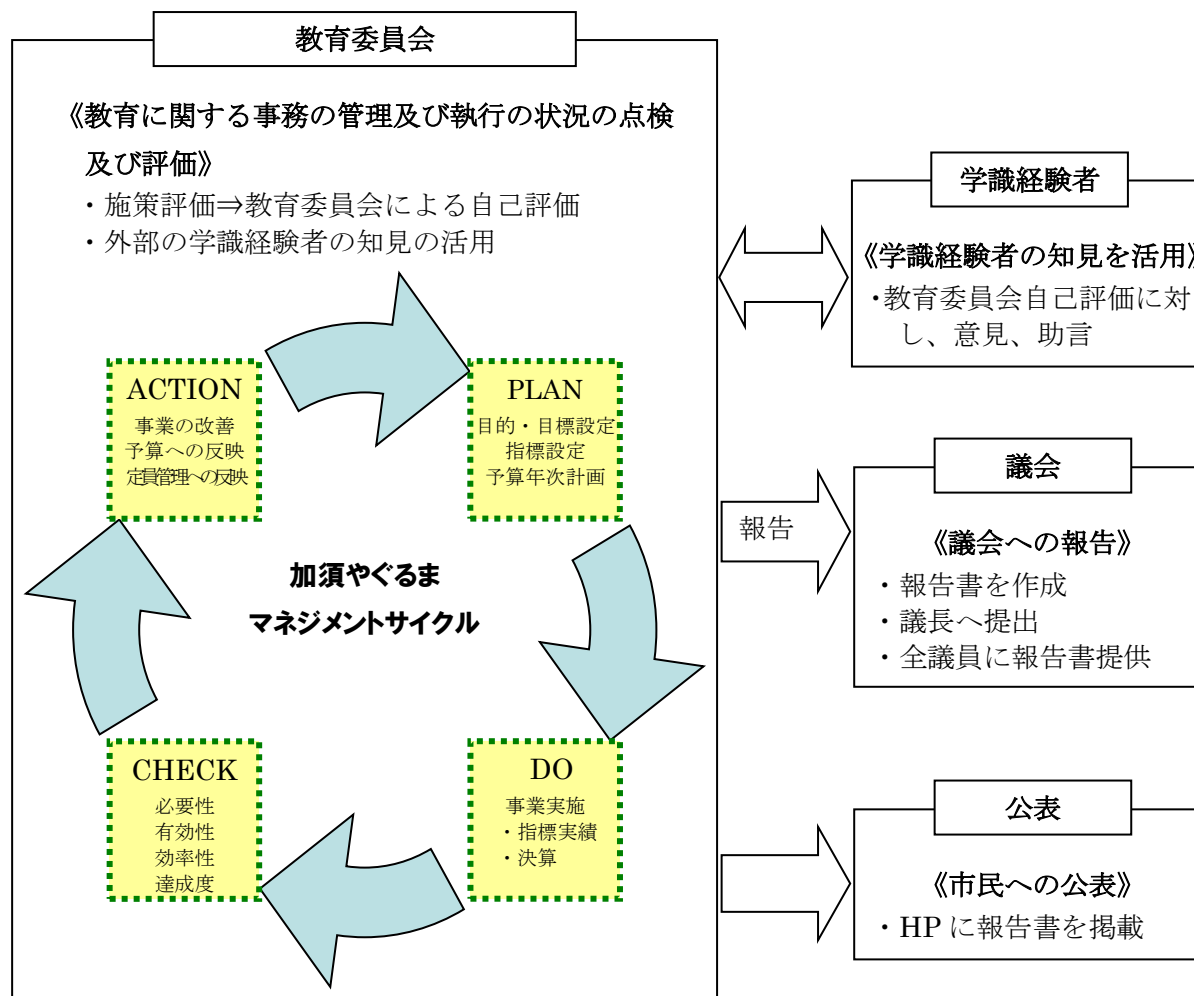
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(4) 実施方法

加須市総合振興計画後期基本計画の事業管理シートを活用し、各事業の実績に基づき、達成度について自己評価を行うとともに、その評価を踏まえ、方向性を検討しました。

また、令和元年度の点検・評価に対し、学識経験者からの意見・助言をいただいた事業の取組状況を検証し、これらを取りまとめました。

なお、令和2年度の点検・評価に当たりましても、外部の学識経験者の意見や助言をいただき、今後の事業推進に活用してまいります。



3 令和2年度教育委員会関連事業一覧

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
01 確かな学力と学ぶ力を育成します						
01 一人一人を伸ばす教育の推進						
		0101-01	1211-06	少人数学級推進事業		学校教育部学校教育課
		0101-02	1211-11	学力アップ事業		学校教育部学校教育課
		0101-03	1112-07	小学校就学援助事業		学校教育部学校教育課
		0101-04	1112-08	中学校就学援助事業		学校教育部学校教育課
		0101-05	1112-11	河野博士育英事業		学校教育部学校教育課
		0101-06	1112-15	避難者支援就学援助事業		学校教育部学校教育課
		0101-07	1212-01	小学校管理運営事業	主	生涯学習部教育総務課
		0101-08	1212-02	中学校管理運営事業	主	生涯学習部教育総務課
		0101-09	1212-03	小学校教材用備品整備事業		生涯学習部教育総務課
		0101-10	1212-04	中学校教材用備品整備事業		生涯学習部教育総務課
		0101-11	1212-10	生徒派遣援助事業		生涯学習部教育総務課
		0101-12	1212-11	学校教育管理事業		学校教育部学校教育課
		0101-14	1211-04	中学校英語教育推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0101-15	1211-05	小学校英語教育推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0101-16	1211-12	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0101-17	1211-18	学校ICT教育活用事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0101-18	1211-19	サイエンススクール事業	再掲	学校教育部学校教育課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0101-19	6211-07	集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
	02 幼児教育の推進					
		0102-01	1121-01	就学前子ども教育・保育認定事業		こども局保育幼稚園課
		0102-02	1121-14	幼稚園預かり保育事業		こども局保育幼稚園課
		0102-03	1131-01	公立幼稚園管理運営事業		こども局保育幼稚園課
		0102-04	1211-12	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
	03 保・幼・小・中の一貫した教育の推進					
		0103-01	1211-12	保・幼・小中一貫教育事業	主	学校教育部学校教育課
	04 特別支援教育の推進					
		0104-01	1211-08	特別支援教育推進事業		学校教育部学校教育課
		0104-02	1112-09	小学校特別支援教育就学奨励事業		学校教育部学校教育課
		0104-03	1112-10	中学校特別支援教育就学奨励事業		学校教育部学校教育課
		0104-04	1212-01	小学校管理運営事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0104-05	1212-02	中学校管理運営事業	再掲	生涯学習部教育総務課
	05 教職員の資質能力の向上					
		0105-01	1211-07	学校訪問指導事業	主	学校教育部学校教育課
		0105-02	1211-09	学習指導改善研究事業	主	学校教育部学校教育課
		0105-03	1211-16	教師用教科書・指導書措置事業		学校教育部学校教育課
		0105-04	1211-17	社会科副読本資料作成事業		学校教育部学校教育課
		0105-05	1213-03	教育センター運営事業	再掲	学校教育部学校教育課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
06 社会の変化に対応する教育の推進						
		0106-01	1211-18	学校ICT教育活用事業	主	学校教育部学校教育課
		0106-02	1211-19	サイエンススクール事業	主	学校教育部学校教育課
		0106-06	3131-02	防災教育推進事業	主	学校教育部学校教育課
		0106-12	4111-02	学校グリーンカーテン事業		学校教育部学校教育課
		0106-17	1312-02	加須未来館管理運営事業	再掲	生涯学習部文化・学習センター
07 グローバル化に対応する教育の推進						
		0107-01	1211-04	小学校英語教育推進事業	主	学校教育部学校教育課
		0107-02	1211-05	中学校英語教育推進事業	主	学校教育部学校教育課
		0107-04	1322-01	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0107-05	1322-02	加須インターネット博物館管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0107-06	1322-03	伝統文化継承支援事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0107-07	1323-01	偉人顕彰事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
08 キャリア教育・職業教育の推進						
		0108-01	1221-02	中学生夢創造チャレンジ事業	主	学校教育部学校教育課
		0108-02	1211-14	市職員マンパワー活用事業		学校教育部学校教育課
09 安全で快適な教育環境の整備・充実						
		0109-01	1212-05	小学校施設整備事業		生涯学習部教育総務課
		0109-02	1212-06	中学校施設整備事業		生涯学習部教育総務課
		0109-03	1132-01	公立幼稚園施設整備事業		こども局保育幼稚園課
02 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進します						

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
01 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進						
		0201-01	1212-07	小学校健康推進事業		学校教育部学校教育課
		0201-02	1212-08	中学校健康推進事業		学校教育部学校教育課
		0201-04	1211-12	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0201-05	1213-01	いじめ・不登校対策事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0201-06	1221-06	あいさつふれあい推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
02 いじめ・不登校の根絶						
		0202-01	1213-01	いじめ・不登校対策事業	主	学校教育部学校教育課
		0202-02	1213-03	教育センター運営事業	主	学校教育部学校教育課
		0202-03	1211-12	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
03 食育の推進						
		0203-01	1214-01	給食センター管理運営事業		学校教育部学校給食課
		0203-02	1214-03	給食費収納対策事業		学校教育部学校給食課
04 子育て支援の充実						
05 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進						
		0205-01	1221-01	学校いきいきステーション事業		学校教育部学校教育課
		0205-02	1221-05	地域密着型教育広報事業		学校教育部学校教育課
		0205-03	1221-06	あいさつふれあい推進事業	主	学校教育部学校教育課
		0205-05	1222-01	家庭の学びと地域の絆推進事業		生涯学習部生涯学習課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0205-06	1222-02	かぞ子ども大学事業		こども局子育て支援課
		0205-07	3122-03	通学路安全対策事業		学校教育部学校教育課
		0205-08	1221-02	中学生夢創造チャレンジ事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0205-12	3131-02	防災教育推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
	06 青少年の健全育成の推進					
		0206-01	1223-01	成人式開催事業		生涯学習部生涯学習課
		0206-02	1223-02	青少年健全育成事業		生涯学習部生涯学習課
	03 人権を尊重した教育を推進します					
	01 学校等における人権教育の推進					
		0301-01	6211-07	集会所管理運営事業	主	生涯学習部生涯学習課
0301-02		6212-01	人権教育推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課	
0301-03		1211-07	学校訪問指導事業	再掲	学校教育部学校教育課	
0301-04		1211-09	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課	
02 家庭、地域社会における人権教育の推進						
	0302-03	6212-01	人権教育推進事業	主	生涯学習部生涯学習課	
	0302-05	6211-07	集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課	
04 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります						
01 生涯学習活動の促進						
	0401-01	1311-01	生涯学習推進計画策定事業		生涯学習部生涯学習課	
	0401-02	1311-02	生涯学習推進計画進行管理事業		生涯学習部生涯学習課	

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0401-03	1311-03	生涯学習管理事業		生涯学習部生涯学習課
		0401-04	1311-04	生涯学習きっかけづくり支援事業		生涯学習部生涯学習課
		0401-05	1311-05	市民学習カレッジ事業		生涯学習部生涯学習課
		0401-06	1311-06	シニアいきいき大学事業		生涯学習部生涯学習課
		0401-07	1312-01	文化・学習センター管理運営事業		生涯学習部文化・学習センター
		0401-08	1312-02	加須未来館管理運営事業		生涯学習部文化・学習センター
		0401-09	1312-03	公民館施設整備事業		生涯学習部生涯学習課
		0401-10	1312-04	公民館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0401-11	1312-07	余裕教室等活用事業		生涯学習部生涯学習課
	02 芸術文化の振興と郷土愛の醸成					
		0402-01	1321-01	文化・学習センター芸術文化振興事業		生涯学習部文化・学習センター
		0402-02	1321-02	地域文化振興事業		生涯学習部生涯学習課
		0402-03	1321-03	まちかど美術館推進事業		生涯学習部生涯学習課
		0402-04	1321-04	地区文化祭振興事業		生涯学習部生涯学習課
		0402-05	1323-01	偉人顕彰事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0402-06	1322-03	伝統文化継承支援事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
	03 文化財の保存・活用					
		0403-01	1322-01	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0403-02	1322-02	加須インターネット博物館管理運営事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0403-03	1322-03	伝統文化継承支援事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0403-04	1322-04	文化財の保存と活用による地域活性化事業		生涯学習部生涯学習課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
	04 図書館サービスの充実					
		0404-01	1313-01	図書館資料整備事業		生涯学習部図書館課
		0404-02	1313-02	図書館管理運営事業		生涯学習部図書館課
		0404-03	1313-03	図書館まつり開催事業		生涯学習部図書館課
		0404-04	1313-04	視聴覚ライブラリー事業		生涯学習部図書館課
		0404-05	1314-02	子ども読書活動推進計画進行管理事業		生涯学習部図書館課
		0404-06	1314-03	絵本との親子ふれあい事業		生涯学習部図書館課
		0404-07	1314-04	ブックトーク・おはなし会開催事業		生涯学習部図書館課
05 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります						
	01 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進					
		0501-01	2231-01	スポーツ推進計画進行策定事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0501-02	2231-02	スポーツ推進計画進行管理事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0501-03	2231-03	スポーツ教室等開催事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0501-04	2231-04	スポーツ普及推進事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0501-05	2231-05	グラウンドゴルフ推進事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0501-06	2231-06	市民体育祭支援事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0501-07	2231-07	健康づくりウォーキング事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0501-08	2232-01	クライミング普及事業	主	生涯学習部スポーツ振興課
		0501-09	2232-02	こいのぼりマラソン大会開催事業	主	生涯学習部スポーツ振興課
		0501-10	2232-03	加須ふじの里駅伝大会支援事業	主	生涯学習部スポーツ振興課
		0501-11	2233-01	総合型地域スポーツクラブ育成事業		生涯学習部スポーツ振興課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0501-12	2232-04	全国大会等支援事業	再掲	生涯学習部スポーツ振興課
		0501-13	2232-06	女子硬式野球振興事業	再掲	生涯学習部スポーツ振興課
	02 スポーツ・レクリエーションに親しむことができる環境づくり					
		0502-01	2234-01	スポーツ施設整備事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0502-02	2234-02	スポーツ施設管理運営事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0502-03	2234-03	学校体育施設開放管理運営事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0502-04	2234-04	スポーツ施設安全点検事業		生涯学習部スポーツ振興課
	03 スポーツを活用した地域活性化の推進					
		0503-01	2232-04	全国大会等支援事業	主	生涯学習部スポーツ振興課
		0503-02	2232-06	女子硬式野球振興事業	主	生涯学習部スポーツ振興課
		0503-03	2232-07	オリンピック・パラリンピック関連事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0503-04	2232-01	クライミング普及事業	再掲	生涯学習部スポーツ振興課
		0503-05	2232-02	こいのぼりマラソン大会開催事業	再掲	生涯学習部スポーツ振興課
		0503-06	2232-03	加須ふじの里駅伝大会支援事業	再掲	生涯学習部スポーツ振興課
	体系外					
		-	1211-01	教育委員会運営事業		生涯学習部教育総務課
		-	1211-02	教育委員会事務局管理事業		生涯学習部教育総務課
		-	1211-21	加須市人づくりプラン進行管理事業		生涯学習部教育総務課

4 令和2年度における新型コロナウイルス感染症の影響

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染予防のため、小中学校・幼稚園を臨時休業したり、各種行事・イベント等の開催方法の変更や中止をしたりするなど、多くの事業が影響を受けました。

年	月	緊急事態宣言ほか (埼玉県が対象となったもの)	市の対応等（主なもの）		
			小中学校、幼稚園	公共施設等	各種行事・イベント等
令和2年	2月	小中学校等の臨時休業要請 (2月27日付)		児童・生徒利用自粛のお願い 2月28日～4月7日	おはなし会（2月最終週から中止）、スポーツ功労者表彰授与式（式典中止）
	3月		↑ 小中学校、幼稚園の臨時休業 3月2日～5月31日（3月27日～4月	↑	齋藤与里展（3月開催へ）、リード・ジャパンカップ（8月、盛岡開催へ）、教育功労者表彰式（式典中止）
	4月	↑ 緊急事態宣言（1回目） 4月7日～5月31日	7日は春休み（幼稚園は～8日） 入学式・入園式（時間短縮等）	↑ 臨時休館 4月6日～5月31日	少年少女発明クラブ（中止）
	5月	↓	↓	↓ (図書館、加須未来館プラネタリウムは～6月30日)	加須市民平和祭（中止）、騎西藤まつり（中止）、騎西郷土史料展示室特別公開（中止）、リード KAZO クライミングカップ（12月、縮小開催へ）
	6月			↓ 感染予防対策を講じながら 段階的再開 6月1日～	市民学習カレッジセミナー（中止）、シニアいきいき大学（休止）、「県展」かぞ（中止）
	7月		小中学校の1学期の延長（～8月7日）	(図書館、加須未来館プラネタリウムは7月1日～)	コロンビア共和国オリンピック選手団事前トレーニングキャンプ（延期）
	8月		小中学校の夏季休業短縮による2学期の開始前倒し（8月20日～）、宿泊を伴う学習（修学旅行・林間学校等）の中止		全国女子硬式野球ユース大会（中止）
	9月		運動会・体育祭（時間短縮、種目変更等）		市政についての話し合い（中止）、総合防災訓練（中止）、小・中学生学級（縮小開催）
	10月		サイエンススクール事業（中止）、小学校陸上競技会（中止）、小中学校音楽会（中止）		地域体育祭（中止）、地域市民まつり（中止）、図書館まつり（中止）、人権問題指導者研修会（縮小開催）、騎西郷土史料展示室特別公開（中止）
	11月				地域文化祭（中止）、地区(公民館)文化祭（中止）、郷土かるた大会（中止）、子ども大学（縮小開催）
令和3年	12月	静かな「年末年始」に関するメッセージ等（12月23日付）		新規利用受付を休止（屋外除く）、開館時間の短縮 12月25日～3月21日	こいのぼりマラソン大会（中止）、生涯学習フェスティバル（中止）、市民音楽祭（中止）、給食試食会（中止）、給食食堂（中止）、全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会（中止）
	1月	↑ 緊急事態宣言（2回目） 1月8日～3月21日		↑ 図書館臨時休館 1月8日～3月21日	成人式（屋外で分散開催）
	2月	↓		↓	人権問題講演会（中止）、少年の主張大会（中止）、騎西城跡出土品展（中止）、スポーツ功労者表彰授与式（式典中止）
	3月		卒業式・卒園式（時間短縮等）	↓	ふじの里駅伝大会（中止）、教育功労者表彰式（式典中止）、合併10周年記念式典（書面開催）、全国高等学校女子硬式野球選抜大会（無観客開催）

5 各事業の点検評価

(1) 基本目標の達成度評価

総合振興計画における評価基準を準用し、各基本目標の達成度評価を行いました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の予防のため、各種イベントの中止や実施方法の見直し等の影響を受けました。そのため、全98事業のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により適正な評価ができない54事業を「コロナによる影響」と区分し、これらを除いた44事業の達成度をもとに、基本目標の達成度評価を行いました。

【達成度評価の状況】

目標	達成度評価	区分	目標を達成	概ね達成	やや遅れている	大幅に遅れている	未着手	コロナによる影響 (A)	合計 (B)	評価数 (B－A)
基本目標1 確かな学力と学ぶ力を育成します	目標どおり 達成できた	事業数	10	14	0	0	0	10	34	24
		割合	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%
基本目標2 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む取組を推進します	概ね達成できた	事業数	1	7	1	0	0	5	14	9
		割合	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%
基本目標3 人権を尊重した教育を推進します	—	事業数	0	0	0	0	0	2	2	0
		割合	—	—	—	—	—	—	—	—
基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります	目標どおり 達成できた	事業数	4	2	0	0	0	21	27	6
		割合	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%
基本目標5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	目標どおり 達成できた	事業数	3	0	0	0	0	15	18	3
		割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%
その他の教育事業	目標どおり 達成できた	事業数	1	1	0	0	0	1	3	2
		割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%
合 計		事業数	19	24	1	0	0	54	98	44
		割合	43.2%	54.5%	2.3%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%

※事業数は再掲を除く。 ※割合は「コロナによる影響」と区分した事業を除いて計算した数値。

【基本目標の達成度評価基準】

評価	達成度評価基準
目標どおり達成できた	基本目標を構成する全ての事業（取組）において達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」であった。
概ね達成できた	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が 80%以上であった。
やや達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が 80%未満であった。
達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が 50%未満であった。

【事業の達成度評価基準】

評価	達成度評価基準
目標を達成	令和 2 年度に実施すべき取組みを予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の 100 %以上に達し、当該年度の目標を達成した。
概ね達成	令和 2 年度に実施すべき取組みを円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の 80%以上に達したものをいう。 ただし、「指標の性質上、最低限達成すべき目標値を達成していない」あるいは「当該実績値が、過去 2 年分の実績と比較し、平均的水準に満たない」など、指標の実績値が目標値の 80%以上に達したとしても、「効果が概ね表れた」とは言い難い場合、下位の評価とすることを妨げるものではない。
やや遅れている	令和 2 年度に実施すべき取組みを行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の 80%未満となったものをいう。
大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の 50%未満となったものをいう。
未着手	何らかの理由により、事業の着手が出来なかった。
コロナによる影響	新型コロナウイルス感染症の影響により適正な評価ができない事業。

(2) 基本目標の取組状況

それぞれの基本目標における具体的な取組状況は、以下のとおりです。

基本目標1：確かな学力と学ぶ力を育成します

教育活動補助員を配置し、チームティーチングや少人数指導による授業を展開するとともに、学力アップのための非常勤講師を配置し、きめ細かな学習指導を行いました。基礎・基本の定着を目指した「加須市ひとり学びノート」や「加須まなび Time」等の取組に加え、思考力・判断力・表現力の育成を目指した「加須市チャレンジシート」を提供し、学力向上を図りました。

障がい児介助員を適切に配置し、支援を必要とする児童生徒一人一人にきめ細かな支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市立小学校及び中学校では、4月9日から5月6日までの間、市立幼稚園においては、4月10日から5月6日までの間、臨時休業としました。その後も感染者が増加し、予断を許さない状況にあったので臨時休業を5月末日まで延長しました。

臨時休業中の学習の進め方については、学習支援用問題集を市立小・中学校の全児童生徒に配付するとともに、保護者宛に通知を发出し、教科書やワークを使用して予習・復習を行うこと、eライブラリや加須市の教職員が中心となって作成した学習支援動画等、児童生徒の家庭学習教材を活用することをお願いしました。市立幼稚園では、各園が発達に応じた手作り教材を作成・配布、隣接する小学校のHPに幼稚園の様子を掲載するなど、幼児たちが再開を楽しみにできるよう努めました。

学校再開後は、時間割編成の工夫や新型コロナウイルス感染拡大防止の視点で学校行事の精選や準備時間を短縮するなど、必要な授業時数を確保し、学習内容そのものについて精選することなく、その学年で学ぶべき内容はすべて授業において指導しました。幼稚園再開後は、絵カードや表示等を使用し、マスクの着用や手洗い・うがい、手指の消毒などの「新しい生活様式」が身に付くよう指導を行いました。また、幼稚園教育は、幼児の興味や関心に応じた遊びを重視しているため、幼児が遊びたくなるような環境の分散、幼児同士が向かい合わないような遊具の配置の工夫等、教師は、幼児が遊びを充実しつつも接触が減らせるような援助や配慮を行いました。

国の令和2年度第2次補正予算を踏まえて、子供たち一人一人の学習定着に応じたきめ細やかな指導を図るための学習指導員と家庭用教材の印刷、健康観察などを担う教員の補助を実施するためのスクール・サポート・スタッフを配置しました。

GIGAスクール構想実現に向けた取組として、令和元年度から着手していた学校における高速大容量のネットワーク環境施設の整備を完了しました。また、端末については、令和5年度末までに整備予定でありましたが、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」により整備計画を前倒しし、市立各小・中学校全学年の児童生徒に一人一台の整備を完了しました。

安心で安全な教育環境の整備充実を図るため、田ヶ谷小学校校舎の大規模改造工事を完了しました。

耐震化が未完了であった樋遣川幼稚園と大越幼稚園園舎の耐震補強工事を実施し、市内の公立幼稚園及び小中学校の耐震化が全て完了しました。

学校施設の整備に係るトータルコストの縮減や財政負担の平準化を図るため、学校施設長寿命化計画を策定しました。

基本目標２：地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進します

いじめや不登校の未然防止のため、家庭や地域と連携するとともに、教育センターを核とした教育相談活動等を展開しました。

地域ボランティアからなる「学校応援団」・「幼稚園応援団」の協力のもと、地域密着型教育を推進しました。

学校給食について、地場産野菜を積極的に活用しながら、子どもたちに栄養バランスに配慮した安全安心な給食を提供しました。

令和２年度は、小・中学校の臨時休業をうけて夏休み・冬休みが短縮されたことから、７月後半と８月、１２月に提供回数を増やして学校給食を提供しました。

給食費については、滞納している家庭に、早期納付を働きかけた結果、収納率は 99.93%となりました。また、新型コロナウイルス感染拡大で影響を受けた子育て世帯を支援するため、６月分給食費を無償化しました。

基本目標３：人権を尊重した教育を推進します

学校人権教育計画訪問を実施するとともに、人権教育講演会や人権教育現地研修会などの研修会を計画的に実施し、学校における人権教育の充実に努めました。

また、人権教育推進員を委託し、小・中学生学級や成人学級等の指導と支援を行いました。

さらに、コロナ禍においても、参加人数の制限や感染症対策を行いながら、人権問題指導者研修会を開催して研修機会を設けるとともに、人権啓発展などの啓発活動を行い、家庭、地域社会における人権教育を推進しました。

基本目標４：生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

加須市生涯学習市民企画委員や生涯学習推進員と連携し、生涯学習セミナーや市民学習カレッジを企画・募集を行いましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止としました。また、その学習成果を発表・展示する、かぞ生涯学習フェスティバル、地域文化祭・地区文化祭及び市民音楽祭も同様に中止としました。さらに、加須市シニアいきいき大学についても、事業の協力をいただいている平成国際大学との協議の結果、中止となりました。

そのような中、「斎藤与里展」・「つるし飾り展」等の芸術文化イベントについては、感染症対策を講じて開催し、市民が芸術文化に触れ、自らの作品の披露ができる機会を作りました。

文化・学習センターでは、各種コンサート等の自主公演事業やミュージカル等の貸館事業の実施を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、または来年度以降に延期となりました。

図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館やおはなし会の中止など、一部サービスの制限をしたほか、入館者カードの記入や飛沫パーテーションの設置、返却本や館内利用本の24時間保管など様々な対策を講じ、安心して利用できる環境づくりに努めました。

そのような中、市民のニーズに応え、一般書や児童書の購入や郷土資料の受入を実施し、蔵書の充実を図ることができました。

さらに、職員オリジナル紙芝居の動画公開や子育て配信メールを活用した子育てに役立つ本の情報を提供するなど、子どもが本にふれあう機会を設け、子どもの読書活動の推進を図りました。

基本目標5：スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

新型コロナウイルスにより利用時間の短縮や三密対策などの対策が必要となり、スポーツやレクリエーション活動が制限されるとともに感染の不安や感染対策の徹底が難しいことなどから、加須こいのぼりマラソン大会、加須ふじの里駅伝大会、市民体育祭など多くのスポーツイベントや競技団体が主催する大会等が中止となりました。

そのような中、感染状況や感染対策を徹底しスポーツ教室やグラウンド・ゴルフ大会、ウォーキング事業などを行い、市民の健康の保持・増進や体力の維持向上に努めました。

埼玉西武ライオンズ・レディースが加須市を本拠地に活動を始めるとともに、11月に「女子野球タウン」として全日本女子野球連盟に認定され連携協定を締結し、女子野球等の普及振興と地域活性化を進めています。

1年間延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、コロンビア共和国のホストタウンとして事前トレーニングキャンプの受け入れや安全安心な聖火リレーの実施に向けて関係機関との調整などの準備を行いました。また、同大会の正式種目となったスケートボードやローラースケートができる加須スケートパークでボードスポーツ団体の主催するスケートボードスクールの開催を支援し、スケートボードなどの推進を図りました。

コロナ対策を徹底し、第21回リードKAZOクライミングカップ2020、第22回全国高等学校女子硬式野球選抜大会、チームケンズカップ紅葉チャレンジトライアスロン・デュアスロンフェスティバルin加須大会、2020年度全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ第3戦全日本学生個人ロードタイムトライアル自転車競技大会などの全国規模の大会が開催され、全国から多くの若者が集うまちづくりを推進しました。

(3) 各事業の達成度評価

基本目標1 確かな学力と学ぶ力を育成します

施策1 一人一人を伸ばす教育の推進

【事業】 【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度の取組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
1	1211-06	少人数学級推進事業	児童生徒の学力を向上させるために、非常勤講師の配置による学習形態の工夫を図り、児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな学習指導の実現を目指す。	・小学校第3学年～第6学年、中学校第2学年及び第3学年に非常勤講師（教育活動補助員）を配置 ・学級担任とのチームティーチングや少人数指導により、個に応じた学習指導や生活指導を実施 ・児童生徒と関わる時間の増加による個別学習の推進 ・「教育活動補助員配置計画」「教育活動補助員成果と課題」の作成・提出		1 ・ 目標を達成	指標(単位)	教育活動補助員の配置状況 (%)					学級編成基準の変更に伴い、令和3年度は小学校第4学年～小学校第6学年が40人学級の編成学年となった。令和4年度は小学校第5学年～第6学年、令和5年度は第6学年が40人学級編成となる予定である。
							年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
							目標	－	100	100	100	100	
							実績	－	100	100	100	100	
	0101-01	学校教育課	一学級の人数が多くなる学年に非常勤講師を配置し、チームティーチングや少人数指導による授業を展開することで、個に応じたきめ細かな学習指導、生活指導を行い、学力向上や心の教育の充実を図る。			小学校第3学年～第6学年、中学校第2学年及び第3学年において、1学級内の人数が多い学級（小学校3～6年：36人以上、中学校2～3年：39人以上）に教育活動補助員を配置することができた。 実績：小学校14学級、中学校1学級、計15学級 また、教育活動補助員を配置し、チームティーチングや少人数指導を行うことにより、個に応じた学習指導や生活指導の充実を図ることができたため、「目標を達成」とした。							
						予算額		45,476千円					
						決算額		34,835千円					
						執行率		77%					

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
2	1211-11	学力アップ事業	児童生徒の学力向上を図るため、児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導の展開を目指す。	・学力向上を図るための非常勤講師の配置 ・中学生学力アップ教室「加須まなびTime」の実施	6・コロナによる影響	指標(単位)	埼玉県学力学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童）	(%)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、加須まなびTimeは4ヶ月間程度の実施にとどまった。 今後も新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されるため、感染に留意しながら児童生徒の学力向上を図る手段を講じていきたい。			
						年度	28年度	29年度		30年度	元年度	2年度(目標年)
						目標	100	100		100	100	100
						実績	96	96		96	96	－
						指標(単位)	埼玉県学力学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（生徒）	(%)				
						年度	28年度	29年度		30年度	元年度	2年度(目標年)
						目標	100	100		100	100	100
						実績	95	95		94	95	－
						令和2年度は、埼玉県学力・学習状況調査が未実施であった。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、加須まなびTimeは4ヶ月間程度の実施にとどまった。						
	0101-02	学校教育課	きめ細やかな学習指導を実施するための非常勤講師の配置する。 中学生を対象に、土日を活用した中学生学力アップ教室「加須まなびTime」を実施し、学力の向上を図る。	予算額	15,620千円							
				決算額	8,982千円							
				執行率	58%							
3	1112-07	小学校就学援助事業	小学校6年間の普通教育を保障し、義務教育の円滑な実施のため、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。	・準要保護児童の世帯の認定 ・就学援助費の支給（年3回） ・支給額算出のための給食欠食状況や校外活動への参加状況等の調査を実施 ・新入学児童生徒学用品費の入学前支給を実施	2・概ね達成	指標(単位)	就学援助費支給額	(千円)	就学援助システムを利用し、迅速で正確な事務処理に努めた。			
						年度	28年度	29年度		30年度	元年度	2年度(目標年)
						目標	46,226	47,540		43,700	43,700	43,700
						実績	39,801	43,363		38,779	35,561	30,049
						全校児童生徒への案内チラシの配布、当該年度の受給者への個別の案内通知等、制度の周知を図る事により、援助を必要とする保護者への支援ができた。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも給食費及び宿泊を伴う行事に係る費用についての支給が減少したため、予算の執行率が低くなった。 ・給食費…4・5月は臨時休校、6月分は全児童分を公費で負担 ・宿泊を伴う行事に係る費用…修学旅行等の中止						
						予算額	45,150千円					
						決算額	30,049千円					
						執行率	67%					
						0101-03	学校教育課	要保護児童の保護者に対して、修学旅行費及び医療費の就学援助費を支給する。 準要保護児童の保護者に学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、PTA会費、児童会費等の就学援助費を支給する。 認定基準は、生活保護最低生活費認定基準の見直しによる影響がないように基準を設定する。		予算額	45,150千円	
	決算額	30,049千円										
	執行率	67%										

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等				
4	1112-08	中学校就学援助事業	中学校3年間の普通教育を保障し、義務教育の円滑な実施のため、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。	2・概ね達成	指標(単位)	就学援助費支給額 (千円)	就学援助システムを利用し、迅速で正確な事務処理に努めた。				
	0101-04	学校教育課	要保護生徒の保護者に対して、修学旅行費、医療費の就学援助費を支給する。 準要保護生徒の保護者に学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、PTA会費、生徒会費等の就学援助費を支給する。 認定基準は、生活保護最低生活費認定基準の見直しによる影響がないように基準を設定する。		年度	28年度		29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)
					目標	46,069		50,106	46,202	46,202	46,202
					実績	38,787		43,015	40,201	39,916	29,737
					全校児童生徒への案内チラシの配布、当該年度の受給者への個別の案内通知等、制度の周知を図る事により、援助を必要とする保護者への支援ができた。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも給食費及び宿泊を伴う行事に係る費用についての支給が減少したため、予算の執行率が低くなった。 ・給食費…4・5月は臨時休校、6月分は全生徒分を公費で負担 ・宿泊を伴う行事に係る費用…修学旅行等の中止						
5	1112-11	河野博士育英事業	河野省三文学博士の遺徳をたたえ、渡辺喜之助氏、渡辺国雄氏両氏の寄附希望条件に副うため、加須市に住所を有する者で経済的理由により就学が困難な者に対し学資金を給与し、もって有用人材の育成を目指す。	2・概ね達成	指標(単位)	新規に採用する奨学生の数 (人)	今後も奨学援護を行い、社会有用の人材育成を目指していく。奨学金を給与した者の、追跡調査を適宜行っていく。				
	0101-05	学校教育課	高等学校に在籍し、市内に住所を有する者で経済的理由により就学が困難な者に対し年額12万円を給与する。給与期間は、給与した時から当該校を修了するまでとする。		年度	28年度		29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)
					目標	10		10	10	10	10
					実績	10		10	10	10	9
					令和2年度は、12名の応募があり、経済的に就学が困難な者で、学業人物ともに優秀な9名に給与した。						

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
6	1112-15	避難者支援 就学援助事業	東日本大震災により被災した児童生徒の保護者のために、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。	・所得に基づき対象世帯を認定 ・就学援助費の支給(年3回)	2・概ね達成	指標(単位) 就学援助支給児童数 (人)	今後においても、引き続き事業を継続していく。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)	
						目標 33 28 15 10 7	
						実績 14 7 8 5 4	
7	0101-06	学校教育課	被災により援助が必要な児童生徒に対し、学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、PTA会費、児童生徒会費等の就学援助費を支給する。	予算額 673千円 決算額 242千円 執行率 36%	1・目標を達成	制度の周知を図る事により、援助を必要とする保護者への支援ができた。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも給食費及び宿泊を伴う行事に係る費用についての支給が減少したため、予算の執行率が低くなった。 ・給食費…4・5月は臨時休校、6月分は全児童分を公費で負担 ・宿泊を伴う行事に係る費用…修学旅行等の中止	小学校22校について、引き続き、適切に管理運営を行う。 また、学校図書館の活性化を図りつつ、全校で図書整備率100%達成を維持する。 令和元年度に普通教室及び特別教室へ空調設備を設置したことから、「加須市立幼稚園及び小中学校エアコン運用指針」に沿うとともに、新型コロナウイルス感染症対策を図りつつ適切に稼働していく。
						指標(単位) 図書整備率100%達成校数 (校)	
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)	
						目標 22 22 22 22 22	
7	0101-07	教育総務課	明るく豊かで活気に満ちた児童の健全な育成を目指し、小学校における教育環境の整備を図る。	・保守点検や委託による施設維持管理 ・各小学校管理運営のための配当予算措置 ・用務員の任用 ・学校日誌・学級日誌・納入袋・卒業証書等の印刷製本	1・目標を達成	実績 22 22 22 22 22	小学校22校の管理運営を行うに当たり、各学校と連携を図りながら必要諸経費を適切に支出することができた。 学校図書においては、全校において図書整備率100%達成を維持することができた。また、学校図書館の活性化を図るため、適正な図書の購入と廃棄を行っている。
						予算額 284,088千円	
						決算額 230,571千円	
						執行率 81%	

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・今後の取組内容等		
8	1212-02	中学校管理運営事業	明るく豊かで活気に満ちた生徒の健全な育成を目指し、中学校における教育環境の整備を図る。	・保守点検や委託による施設維持管理 ・各中学校管理運営のための配当予算措置 ・用務員の任用 ・学校日誌・学級日誌・納入袋・卒業証書等の印刷製本 ・各種大会に係るバスの借上げ ・中学校体育連盟への補助金交付	2・概ね達成	指標(単位)	図書整備率100%達成校数 (校)	中学校8校について、引き続き、適切に管理運営を行う。 また、学校図書館の活性化を図りつつ、全校で図書整備率100%達成を目指していく。 令和元年度に普通教室及び特別教室へ空調設備を設置したことから、「加須市立幼稚園及び小中学校エアコン運用指針」に沿うとともに、新型コロナウイルス感染症対策を図りつつ適切に稼働していく。	
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度		2年度(目標年)
	目標	8	8			8	8		8
	実績	8	7			7	8		7
	中学校8校の管理運営を行うに当たり、各学校と連携を図りながら必要諸経費を適切に支出することができた。 学校図書においては、全8校中7校が図書整備率100%を達成することができた。また、学校図書館の活性化を図るため、適正な図書の購入と廃棄を行っている。								
	0101-08	教育総務課	中学校8校について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費を措置し、管理運営を行う。	予算額	162,464千円				
				決算額	125,165千円				
				執行率	77%				
9	1212-03	小学校教材用備品整備事業	理科教育に関する指導内容に沿った備品を整備し、理科教育の振興を図る。	・理科実験備品の購入 ・理科教育設備の整備	1・目標を達成	指標(単位)	小学校理科備品の整備率 (%)	引き続き、理科備品の整備率の低い学校に重点を置きながら、備品の整備を進め、加須市全体の理科備品の質の向上を図る。	
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度		2年度(目標年)
	目標	86.2	87.1			88.1	89.1		76.8
	実績	85.9	86.4			87.5	76.8		76.9
	整備率の低い騎西・北川辺地域に重点を置きながら、各小学校に補助金を利用して、各校の要望どおり備品整備を行った。 (理科教育振興費国庫補助金交付要綱に定める基準額が、令和元年8月に、10,341千円から11,630千円に改定されたため、令和2年度の目標値を76.8%に見直した。)								
	0101-09	教育総務課	各校の理科備品の整備状況を踏まえ、理科教育設備の充実に必要な備品を整備する。	予算額	1,811千円				
				決算額	1,780千円				
				執行率	98%				

基本目標1 確かな学力と学ぶ力を育成します

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等		
10	1212-04	中学校教材用備品整備事業	理科教育に関する指導内容に沿った備品を整備し、理科教育の振興を図る。	・理科実験備品の購入 ・理科教育設備の整備		2・概ね達成	指標(単位)	中学校理科備品の整備率 (%)					引き続き、理科備品の整備率の低い学校に重点を置きながら、備品の整備を進め、加須市全体の理科備品の質の向上を図る。		
							年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)			
							目標	88.2	88.5	88.8	89.1	89.4			
							実績	88.6	83.2	84.1	80.5	80.5			
	加須東中学校が備品の使用の可否を精査して備品を整理・破棄したため、実績値が目標値を下回ったが、整備率の低い騎西中、北川辺中、大利根中に重点を置きながら、各中学校に補助金を利用して各校の要望どおり備品整備を行った。														
0101-10	教育総務課	各校の理科備品の整備状況を踏まえ、理科教育設備の充実に必要な備品を整備する。	予算額	1,219千円	6・コロナによる影響	指標(単位)	生徒派遣費補助金の交付件数 (台)					市内中学校に制度の周知を行い、補助金の活用を促すとともに、加須市立小・中学校児童生徒派遣費補助金交付要綱に基づき適正な補助金の交付を行う。			
			決算額	1,215千円		年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)				
			執行率	100%		目標	—	12	12	12	12				
11	1212-10	生徒派遣援助事業	明るく豊かで活気に満ちた生徒の健全な育成を目指すために、中学校における各種スポーツ及び文化活動の振興を図る。	・全国大会等生徒派遣費の補助（コロナ禍のため、補助対象となる全国大会等は中止となった）		6・コロナによる影響	実績	8	10	12	19		0	各学校に制度を周知し、交付できる体制を取ったが、コロナ禍のため、補助対象となる全国大会等が開催されなかったため、補助金の交付はなかった。	
							予算額	800千円							
							決算額	0千円							
							執行率	0%							
12	1212-11	学校教育管理事業	学校教育課の事業を円滑に進めるために必要な経費を措置する。	・課の運営に係る諸経費の適正な管理・執行 ・令和3年度使用教科用図書採択協議会を開催			2・概ね達成	事業を円滑に進めるにあたり、必要経費を適切に支出することができた。							指導要領改訂による、教科用図書採択地区協議会を開催するための予算や、特定教科専門指導非常勤講師と欠員対応非常勤講師の配置に必要な予算などの、適正な管理執行に努める。
						予算額		65,368千円							
						決算額		20,472千円							
						執行率		31%							
0101-12	学校教育課	課の運営に係る諸経費（主に人権関係予算と負担金等）の適正な管理執行に努める。			2・概ね達成										

施策2 幼児教育の推進

【事業】 【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 の 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
13	1121-01	就学前子ども教育・保育認定事業	就学前（0～5歳）児童に必要なに応じた保育・教育を提供し、保育・教育の適正化と子育て家庭への支援を図る。	・認定決定通知書の発行 ・保育サービスの提供に伴う課の経常的な事務経費を支出 ・保育料の適正な算定と徴収 ・市内私立保育園（14園）に保育料収納事務を委託（保育所保育料収納対策事業） ・教育・保育認定入力事務に伴う会計年度任用職員の雇用	1・目標を達成	指標(単位)	保育所保育料現年度収納率（％）					引き続き、必要に応じた支給認定を行い、保育サービスの提供につなげる。 また、令和元年10月から実施している幼児教育・保育無償化のための新たな認定を行うとともに、無償化の対象ではない世帯に対して、公正な保育料負担のため、適正な保育料の算定および徴収を行う。
		年度	28年度			29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)			
	目標	99	99			99	99	99				
	実績	99	99			99	99	99				
	就学前児童の必要に応じた教育・保育の支給認定を行い、保育サービスの提供につなげた。 保育料の適正な算定を行うとともに、収納事務を実施し公正な保育料負担を図った。											
	0102-01	保育幼稚園課	就学前（0～5歳）児童に、必要に応じて認定決定通知書を発行する。 保育サービスの提供を実施するため必要となる一連の事務を行う。 市民税を算定基礎に保育料の賦課徴収を行う。	予算額		3,813千円						
決算額				3,586千円								
執行率				94%								
14	1121-14	幼稚園預かり保育事業	仕事など家庭の事情により、保育の延長が必要な幼児に対して、公立幼稚園で預かり保育を実施することにより、子育てを支援する。	・意向調査 ・通常保育時間外における幼児の保育 ・対象となる公立幼稚園9園で預かり保育を実施	1・目標を達成	指標(単位)	預かり保育受入率（％）					引き続き、必要に応じて預かり保育を実施し、子育て支援につなげる。 令和3年度は、利用希望のあった8園で実施する。
		年度	28年度			29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)			
	目標	-	-			100	100	100				
	実績	100	100			100	100	100				
	保護者の利用希望のあった9園で希望者全員（延べ7,168人）の預かり保育を実施し、子育て支援を行った。 （4・5月は休園のため、6月より預かり保育を実施した。）											
	0102-02	保育幼稚園課	保護者の就労・入通院や家族の看護・介護等により、通常の保育終了の午後3時から4時30分までの1.5時間、定期的、または一時・緊急時に保育を必要とする幼児を対象に保育を行う。子育てのための施設等利用給付の認定を受けると無償となる（償還払い）。 定期利用 月額2,200円 一時・緊急 日額200円	予算額		13,300千円						
決算額				6,633千円								
執行率				50%								

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
15	1131-01	公立幼稚園管理運営事業	公立幼稚園（13園）の適正な管理運営を行う。	・公立幼稚園の管理運営 ・教員免許状更新講習受講料の公費負担（臨時的任用教諭確保対策） ・主任教諭が担任をしている2園に、事務職員と幼稚園補助員を配置した。		6・コロナによる影響	指標(単位)	歯磨き指導実施回数（回）					臨時的任用教諭確保対策として、教員免許状講習受講料の公費負担を継続して実施する。 歯磨き指導の実施においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、各園で取り組むようにする。
		年度	28年度				29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)			
	目標	2	2				2	2	2				
	実績	2	2				2	2	1				
	0102-03	保育幼稚園課	公立幼稚園13園について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費などを適正に管理し、管理運営を行う。 幼児・教職員の健康診断等を実施する。 幼稚園の環境衛生検査を実施する。 ・産休代替、欠員補充職員を雇い上げ適正に配置する。 ・幼稚園補助員を配置する。	予算額	182,772千円		公立幼稚園（13園）の管理運営を適正に行った。 臨時的任用教諭確保対策として、教員免許状更新講習受講料を公費負担した。 歯磨き指導は、新型コロナウイルス感染症拡大の観点から、園の規模等において、実施しなかったり、回数が異なったりしたため、目標を達成することができなかった。						
				決算額	137,210千円								
執行率				75%									

施策3 保・幼・小・中の一貫した教育の推進

【事業】 【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 の取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
16	1211-12	保・幼・ 小中一貫 教育事業	学校不適応児童生徒の解消 のために、保育所(園)、幼稚園、 小・中学校相互の滑らかな 接続をめざし、教育指導・ 内容の充実を図る。	・教職員の人的交流活動に加 え、学習支援や保育・学習参観 等を通して、教育活動や学習指 導等の連携を強化 ・幼児、児童生徒の校（園等） 種間の交流活動や合同遊び等を 通した、保・幼・小中の「縦」 の連携に加え、同一中学校区内 の幼稚園や保育所、小学校の 「横」の連携を強化 ・保・幼・小・中連絡協議会の 開催（年1回）を通し、連携を 強化	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	保育所、幼稚園、小・中学校の交流の 延べ回数 (回)					リンクミーティング（中学校区 の合同会議）を通して保・幼・小 中一貫教育の充実を図る。 年度末に保・幼・小中連携協議 会を開催し、リンクミーティング の成果及び交流活動の実績を振り 返し、連携を強化させていく。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
	目標	-	650回	650回		650回	650回					
	実績	711回	806回	716回		933回	275回					
	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のた め、保育所、幼稚園、小・中学校の交流を活発におこなう ことができなかった。また、リンクミーティング（中学校 区の合同会議）の中止や、オンラインでの開催があったた め、予算の執行率は4％であった。											
0103-01	学校教育 課	幼児、児童生徒間の異年齢 集団による交流活動を通し て、豊かな人間性や社会性を はぐくむ。 また、教職員が校（園等） 種を越えて交流し、互いの指 導内容や指導方法を理解し 合うことで、教員としての指 導力や人間性を高める。										
			予算額	418千円								
			決算額	15千円								
			執行率	4％								

施策4 特別支援教育の推進

【事業】 【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 の 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
17	1211-08	特別支援 教育推進 事業	児童生徒の教育的ニーズに 対応するため、介助を必要と する児童生徒の就学支援体制 の充実を図る。	・小・中学校障がい児介助 員の配置 ・ことばの教室の運営 ・発達障害・情緒障害通級 指導教室の運営 ・障がい児介助員の質的向 上を図るための研修実施 ・年度内に行う予定の終了 検査を次年度に繰り越した	6 ・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	ことばの教室（構音障害）修了者の割 合（％）					本年度も児童生徒の教育的ニ ーズに応じた支援を行う。 臨時休校後の学校再開から通級 による指導を行うことができた が、通級回数が減ったため本来な ら終了する児童が終了とならない ケースがあった。そのため、可能 な限り通級回数を確保すると共 に、1単位時間の指導の充実を図 る。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	95	95	95	95	95	
						実績	33	60	34	37	62	
18	0104-01	学校教育 課	特別支援学級や通常学級で 学ぶ児童生徒の教育活動を支 援する障がい児介助員を配置 する。 難聴・言語障害通級指導教 室（ことばの教室）を運営す る。 発達障害・情緒障害通級指 導教室を運営する。	・ 予算額 86,281千円 ・ 決算額 81,596千円 ・ 執行率 95%	2 ・ 概 ね 達 成	4・5月の臨時休業期間は、通級指導を行っておらず、 指導回数が減少し終了とならない児童がいたため目標値に 達しなかった。						
18	1112-09	小学校特 別支援教 育就学奨 励事業	特別支援学級に在籍する児 童及び学校教育法施行令第2 2条の3に規定する障害の程 度に該当する児童の保護者の ために、通学に係る費用につ いて必要な補助をし、経済的 負担の軽減を目指す。	・ 支弁区分（3段階）の認 定 ・ 就学奨励費の支給（年3 回） ・ 支給額算出のための給食 欠食状況や校外活動への参 加状況等の調査を実施	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	就学奨励費支給額（千円）					特別支援学級等における対象児 童の状況に留意しつつ、引き続き 適切に支給事務を行う。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	3,193	2,755	3,735	3,735	4,528	
						実績	2,190	2,665	3,460	3,717	2,964	
18	0104-02	学校教育 課	特別支援学級へ在籍する児 童及び学校教育法施行令第2 2条の3に規定する障害の程 度に該当する児童の保護者に 対し、所得に応じて、学用品 費、新入学用品費、校外活動 費、修学旅行費、学校給食費 等を国の基準により支給す る。	・ 予算額 5,365千円 ・ 決算額 2,964千円 ・ 執行率 55%	2 ・ 概 ね 達 成	教育の機会均等の趣旨に則り、特別支援学級に就学する 児童の保護者に対して学用品等を支給し、経済的な負担の 軽減を図った。 執行率の低さは、支給対象者が予算計上時の想定を下 回ったうえ、新型コロナウイルス感染症により、交流学习、修学旅 行、宿泊を伴う校外学習等が実施されず、奨励費の支給が なかったため。						

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等		
19	1112-10	中学校特別支援教育就学奨励事業	特別支援学級に在籍する生徒及び学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者のために、通学に係る費用について必要な補助をし、経済的負担の軽減を目指す。	・支弁区分（3段階）の認定 ・就学奨励費の支給（年3回） ・支給額算出のための給食欠食状況や校外活動への参加状況等の調査を実施	2 ・概ね達成	指標(単位)	就学奨励費支給額 (千円)	特別支援学級等における対象生徒の状況に留意しつつ、引き続き適切に支給事務を行う。	
						年度	28年度		29年度
	目標	2,194	2,148			2,547	2,547		3,644
	実績	1,197	1,963			2,210	1,780		1,961
	教育の機会均等の趣旨に則り、特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して学用品等を支給し、経済的な負担の軽減を図った。								
	執行率の低さは、支給対象者が予算計上時の想定を下回ったうえ、新型コロナウイルス感染症により、交流学习、修学旅行、宿泊を伴う校外学習等が実施されず、奨励費の支給がなかったため。								
0104-03	学校教育課	特別支援学級へ在籍する生徒及び学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者に対し、所得に応じて、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等を国の基準により支給する。	予算額	4,078千円					
			決算額	1,960千円					
			執行率	48%					

施策5 教職員の資質能力の向上

【事業】 【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 の 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
20	1211-07	学校訪問 指導事業	幼児、児童生徒に生きる力を育むために、市立幼稚園及び小・中学校への訪問指導を行い、教職員の指導力の向上、学校の教育力の向上を目指す。	・計画訪問や要請訪問の実施 ・公開授業や研究授業、公開保育、研究保育に対する指導助言 ・教育活動の諸課題に対する指導助言 ・諸表簿等の適切な管理、地域密着型教育の推進についての指導助言	2・概ね達成	指標(単位)	埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童生徒）（％）	コロナ禍における学校訪問のあり方を検討する。具体的には、各幼稚園及び小・中学校のニーズに応じたきめ細かい指導につなげるよう、指導員の派遣、訪問方法の見直し、訪問内容の見直しを行う。新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導を行い、校内研修の充実を図る。				
						年度	28年度		29年度	30年度	元年度	2年度（目標年）
						目標	100		100	100	100	100
						実績	96		96	96	96	－
	0105-01	学校教育課	市立幼稚園及び小・中学校への計画訪問及び要請訪問を行い、市内における教育実践上の諸課題について管理上の課題の解決を図る。			指標(単位) 学校訪問回数（回）						
						年度	28年度		29年度	30年度	元年度	2年度（目標年）
						目標	－		－	－	170	170
						実績	－		－	－	176	164
						新型コロナウイルス感染拡大防止のための一斉休校による授業時数の確保の観点から、埼玉県学力・学習状況調査は実施しなかった。学校訪問は、感染拡大防止策を徹底しながら、学校の状況に応じて弾力的に学校訪問を行うことができた。						
						予算額	21千円					
						決算額	20千円					
						執行率	95%					
21	1211-09	学習指導 改善研究 事業	子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成するために、市立幼稚園及び小・中学校の充実した教育活動の実践を目指す。	・小学校4校、中学校1校に研究を委嘱 ・幼稚園4園に公開保育を指定 ・学力・体力・規範意識の向上を図るために教育課程検討委員会を開催 ・学習指導法の改善のための教科等への支援を実施 ・加須市教育研究会、加須市小・中学校児童生徒体力向上推進委員会への支援	6・コロナによる影響	指標(単位)	埼玉県学力学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童生徒）（％）	コロナ禍における各幼稚園、各小・中学校のニーズに応じたきめ細かい支援のあり方を検討し、実施する。新体力テストについては、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、児童生徒の事故防止に努めながら実施できるよう指導の充実を図る。				
						年度	28年度		29年度	30年度	元年度	2年度（目標年）
						目標	100		100	100	100	100
						実績	96		96	96	96	－
	0105-02	学校教育課	充実した教育活動の実践を図るために市立幼稚園及び小・中学校に公開保育の指定や研究委嘱を行う。 また、各教科等の充実を図るための支援を行うとともに、教育課程検討委員会を設置し、教育活動全体の改善を図る。			指標(単位) 体力テストの5段階絶対評価で上位3ランク（A+B+C）の児童生徒の割合（％）						
						年度	28年度		29年度	30年度	元年度	2年度（目標年）
						目標	－		－	83	83	83
						実績	－		－	87	86	－
						新型コロナウイルス感染拡大防止のための一斉休校による授業時数の確保の観点から、埼玉県学力・学習状況調査は実施しなかった。同様に、新体力テストも実施しなかった。						
						予算額	6,990千円					
						決算額	4,041千円					
						執行率	58%					

基本目標1 確かな学力と学ぶ力を育成します

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
22	1211-16	教師用教科書・指導書措置事業	小・中学校の公教育としての水準の維持を図るために、教科書、指導書を措置し、児童生徒の基礎学力の確実な定着を目指す。	- 小・中学校に学級の増設や教員の増員で必要となる教師用教科書及び指導書の措置 「特別の教科 道徳」小学校教育教科書を採択	1・目標を達成	指標(単位) 学級増、教員増の学校へ教師用教科書及び指導書を配布した割合 (%)	今後も、学級の増設や教員の増員に応じて教師用教科書及び指導書を適切に措置していく。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)	
						目標 100 100 100 100 100	
						実績 100 100 100 100 100	
23	0105-03	学校教育課	学級の増設及び教員の増員があった小・中学校を対象に、4月(但し、後期は9月)に教師用教科書及び指導書を購入し、配布する。	予算額 40,739千円	2・概ね達成	令和2年度は、小学校が新教科書の使用を開始した。中学校は、使用教科書の採択を行った。	
				決算額 40,482千円			
				執行率 99%			
23	1211-17	社会科副読本資料作成事業	郷土「加須市」を理解し、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、郷土「加須市」を愛する児童の育成を目指す。	令和2年度から使用する社会科副読本を編集するための編集委員会を組織し、編集の方針や取材方法を決定した。	2・概ね達成	指標(単位) 加須市に対する理解が深まった児童の割合 (%)	令和5年度に配布予定の社会科副読本作成に向けた情報収集を行っていく。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)	
						目標 80 80 80 80 80	
						実績 71 81 65 68 73	
23	0105-04	学校教育課	3年に一度の周期で小学校第3・4学年用社会科副読本の改訂を行う。 また、改訂後は、指導の手引き、評価テスト、ワークプリントを作成し、市立各小学校へ配布して、その活用を図る。	予算額 229千円	2・概ね達成	令和2年度は、社会科副読本に準拠した指導の手引き及び評価テスト、ワークシートを作成し、市立全小学校に配布した。	
				決算額 2千円			
				執行率 1%			

施策6 社会の変化に対応する教育の推進

【事業】 【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
24	1211-18	学校 I C T 教育活 用事業	児童生徒の確かな学力の向 上と情報活用能力の育成のた めに、情報教育環境を活用 し、わかる・楽しい授業の実 現を目指す。	・教育系コンピュータ及び 校務系コンピュータのリー ス契約更改はなし。 ・各校に消耗品費、修繕費 を措置。 ・G I G A スクール構想の 実現に向けた1人1台端末と 校内情報通信ネットワーク 整備の実施。	2 ・概 ね 達 成	指標(単位)	ICTを活用して効果的な指導ができる 教員の割合 (%)	令和3年3月に策定した加須市 学校 I C T 活用推進計画に基づい た1人1台端末の活用を推進す る。 令和2年度に児童生徒の情報活 用能力の育成状況を把握するた め、「伸び伸びチェックリスト」 による調査を実施した。これに伴 い、令和2年度には、これまでの 指標による調査は未実施であっ た。今後、指標の見直しを行って いく。				
		年度	28年度			29年度	30年度		元年度	2年度 (目標年)		
	目標	90	90			90	90		90			
	実績	80	80			82	78		79			
	指標(単位)	ICTを活用して情報活用能力を発揮で きる児童生徒の割合 (%)										
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度		2年度 (目標年)			
	目標	90	90			90	90		90			
	実績	84	82			78	—		—			
	G I G A スクール構想の実現に向けた1人1台端末の整 備及び校内情報通信ネットワーク整備が完了した。 令和3年3月末に市内14校のP C 教室がリース満了を迎 え、引き上げ作業を行った。 令和3年2月には、校務系端末222台のリース入替を 行った。 校務系ネットワーク回線切替工事を実施し、円滑な校務 の実施につなげた。											
	予算額	1,072,245千円										
	決算額	968,393千円										
	執行率	90%										
25	1211-19	サイエン ススク ール事業	児童の科学や理科への興 味・関心を高めるため、加須 未来館を活用した理科学習の 充実を目指す。	・小学4年生を対象として 加須未来館を活用した理科 学習の実施 (プラネタリウム、望遠鏡 等の活用)	6 ・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	未来館学習による理科に関する興味・ 関心の向上 (%)	新型コロナウィルスの感染状 況を見ながら、実施について検討 していく。				
		年度	28年度			29年度	30年度		元年度	2年度 (目標年)		
	目標	95	95			95	95		95			
	実績	95	94			91	88		—			
	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、加須未来 館を活用した学習は実施できなかった。											
	0106-02	学校教育 課	小学校第4学年の全児童を対 象に、加須未来館においてプ ラネタリウムや望遠鏡等を活 用した理科学習を実施する。 加須未来館での学習を実施 するために、児童が移動する ためのバスを措置する。			予算額	1,210千円					
						決算額	0千円					
						執行率	0%					

基本目標1 確かな学力と学ぶ力を育成します

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等		
26	3131-02	防災教育 推進事業	東日本大震災を受け、本市独自の防災教育を推進し、災害発生時に的確な判断の下に、安全な行動によって生命の確保ができる子どもたちの育成を目指す。	・災害時中学生ボランティアリーダー研修会の実施（各中学校代表生徒33名が参加） ・加須市防災教育研修会の実施 ・防災教育指導資料を活用した授業の実践 ・避難訓練等の改善・充実（災害時における子どもたちの安全確保） ・水害に係る避難計画作成及び説明会の実施	2・概ね達成	指標(単位)	市内各幼稚園及び小・中学校における「加須市防災教育指導資料」の活用率 (%)	加須市防災ノートを活用した授業実践を各校で実施するとともに、活用状況を把握し、よりよい活用につなげていく。	
		年度	28年度			29年度	30年度		元年度
	目標	100	100			100	100		100
	実績	100	100			100	100		100
	0106-06		学校教育課	拠点避難場所や地域で活躍できる中学生ボランティアリーダーを育成するための研修会を実施する。 また、防災教育研修の開催や従来の訓練の方法を見直した引き渡し訓練及び避難訓練などの実施、防災教育指導資料の活用促進を図る。		新型コロナウイルス感染症対策のため、中学生ボランティアリーダー研修会及び防災研修会が中止となった。 加須市防災ノートを作成し、各小・中学校の教師、児童生徒に配布することができた。			
			予算額	2,306千円					
			決算額	1,561千円					
			執行率	68%					
27	4111-02	学校グリーンカーテン事業	環境問題に真剣に取り組む幼児、児童生徒を育成するために、具体的かつ体験的な環境学習を実施する。	・ゴーヤ、アサガオ、ヒョウタン等の栽培によるグリーンカーテンの設置	6・コロナによる影響	指標(単位)	環境に興味・関心をもっている児童生徒の割合 (%)	各園・各校において工夫してグリーンカーテンを作成に取り組んでいく。 SDGsを念頭に置き、環境に関する学習を系統的に実施し、児童生徒の興味関心を高めていく。	
		年度	28年度			29年度	30年度		元年度
	目標	100	100			100	100		100
	実績	90	95			92	90		—
	0106-12		学校教育課	各幼稚園、各小・中学校の壁面や花壇等を活用し、ゴーヤやヘチマ等を栽培してネットにはわせ、校（園）舎南側にグリーンカーテンをつくる。		限られた予算の中、各校で工夫してグリーンカーテンを作成している。アンケートは、実施できなかった。			
			予算額	0千円					
			決算額	0千円					
			執行率	—					

施策7 グローバル化に対応する教育の推進

【事業】 【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
28	1211-05	中学校英語教育推進事業	外国語について、言語や文化に対する理解を深め、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。	- 英語教育研究員の計画的な訪問による、英語教員や外国語指導助手の授業支援や指導 - 外国語指導助手（ALT）の授業力向上のための研修会の実施 - イングリッシュサマーキャンプは新型コロナウイルス感染症防止のため、中止 - 英語教員の授業力向上のための研修会の実施 - 小学校と中学校の連携を図るための研修会の実施	1・目標を達成	指標(単位)	英語検定3級程度の英語力を有する中3生徒の割合 (%)					イングリッシュサマーキャンプは新型コロナウイルス感染症防止のため、中止とした。 今後も外国語指導助手（ALT）の適切な配置や、研修会を適切に行っていく。 研修会を通して、指導力の向上や小・中学校の一層の連携を図る。
		年度	28年度			29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)			
	目標	40	40			40	40	40				
	実績	45	46			42	42	42				
	英語教育研究員の計画的な訪問と授業支援により、英語教員と外国語指導助手の授業の改善が図られた。 外国語指導助手の研修会により、外国語指導助手の指導力が向上し、授業内容の充実が図られた。											
	0107-01	学校教育課	生徒の英語能力の基礎を養うため、全ての市立中学校に、外国語指導助手を配置する。 英語教育研究員が、全ての市立中学校を計画的に訪問し、英語教員や外国語指導助手の授業支援や指導を行う。 外国語指導助手の授業力向上のための研修会を定期的に行う。 小学校と中学校の連携のための研修会や授業力向上のための研修会を行う。			予算額	24,305千円					
						決算額	23,760千円					
執行率				98%								

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
29	1211-04	小学校英語教育推進事業	外国語活動について、体験を通して言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	・5・6年生に対して、年間70時間の外国語の授業を、3～4年生に対して年間35時間の外国語活動の授業を、担任と外国語活動指導助手（AFT）とのチームティーチングで実施 ・英語教育研究員による学校訪問での授業支援と指導、研修会による授業力の向上 ・小・中学校の連携を図るための研修会の実施		1・目標を達成	指標(単位)	小学校外国語活動の目標をおおむね達成した5、6年生児童の割合（令和2年度：小学校外国語科の目標を十分達成した5、6年生の児童の割合）					英語教育研究員が小学校を学期に1度訪問し、担任や外国語活動指導助手への授業支援や指導を行う。 研修会をとおして、指導力の向上や小・中学校の一層の連携を図る。
							年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
							目標	100	100	100	100	40	
							実績	91	90	86	92	44	
							指標(単位)	外国語活動が楽しいと感じている児童の割合（平成28年度～令和元年度は5、6年生、令和2年度は3、4年生）					
	年度	28年度	29年度	30年度	元年度		2年度(目標年)						
	目標	100	100	100	100		100						
	実績	93	91	91	90		92						
	令和2年度より、これまで5、6年生で行われていた外国語活動が3、4年生で実施となり、5、6年生は教科として外国語の授業となった。外国語科の目標を十分達成した児童や、外国語活動が楽しいと感じている児童が多かった。												
	0107-02	学校教育課	全ての市立小学校に外国語活動指導助手を配置する。 英語教育研究員が、全ての市立小学校を計画的に訪問し、担任や外国語指導助手の授業支援や指導を行う。 小学校と中学校の連携のための研修会や授業力向上のための研修会を行う。	予算額	21,310千円								
決算額				19,562千円									
執行率				92%									

施策8 キャリア教育・職業教育の推進

【事業】 【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 の取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
30	1221-02	中学生夢 創造チャ レンジ事 業	生徒の将来の夢や希望を育むため、進路意識の啓発、高揚を図り、中学生が望ましい職業観や働くことの意義、生き方等を学ぶ機会の充実を目指す。	・生徒の職場体験や福祉体験のために必要な保菌検査の実施や損害保険への加入等の支援の実施を予定していたが、コロナ禍のため、中止となった。 ・市内中学校でのふれあい講演会の実施のための支援	6・コロナによる影響	指標(単位)	ふれあい講演会を実施した中学校の割合 (%)					「ふれあい講演会」は、生徒一人一人の将来の夢や希望について考えることのできるよいキャリア形成の機会となっていることから、今後も支援を継続する。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	100	100	100	100	100	
						実績	100	100	100	100	38	
31	0108-01	学校教育課	中学生が人とのふれあいを通して「働くことの意義」や「生き方」について学ぶ、市各中学校が企画する職場体験学習（原則として3日間）に必要な消耗品費や保菌検査、損害保険加入等を支援する。 地域の方等から生き方や職業についての話を聞く「ふれあい講演会」の支援を行う。	予算額	572千円					「職場体験学習」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市内全公立中学校で中止とした。 「ふれあい講演会」は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、実施の可否の判断を含め、各学校の実情に合わせた実施をし、3校（加須東中、加須北中、北川辺中）で行われた。		
				決算額	15千円							
				執行率	3%							
31	1211-14	市職員マン パワー 活用事業	地域密着型教育の推進のために、市職員が有する専門的知識、技術等を学校教育に活用し、教育活動の充実をめざす。	・市職員による「教科等の学習活動」、「教科等以外の教育活動」、「教職員の研修」等、学校教育活動を支援・指導	6・コロナによる影響	指標(単位)	市職員の派遣を要請した回数 (回)					各学校に本事業の活動事例を周知し、より効果的な人材活用を図るとともに、他課と十分な連携を図る。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	20	20	20	10	10	
						実績	7	5	8	8	2	
31	0108-02	学校教育課	市内の公立小・中学校及び幼稚園（以下「小・中学校等」という。）からの要請に基づき、市職員を講師として、小・中学校等へ派遣し、市職員が有する専門的知識、技能等を活用した教科等の学習活動の支援及び教職員研修等を行う。	予算額	0千円					校舎改修に係る市役所の働きや、職業学習など、学校のニーズに応じて、他課との連携により市職員を派遣し、教育活動の充実を図った。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講師派遣の回数が少なかった。		
				決算額	0千円							
				執行率	—							

施策9 安全で快適な教育環境の整備・充実

【事業】 【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
32	1212-05	小学校施設整備事業	学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な学習環境を確保する。	・加須市学校施設長寿命化計画策定 ・【繰越】田ヶ谷小学校校舎大規模改修工事 ・【繰越】礼羽小学校外ブロック塀安全対策工事 ・【繰越】豊野小学校エアコン交換工事 ・【繰越】豊野小学校外中庭床仕上材撤去補修工事 ・加須小学校救助袋交換工事 ・高柳小学校避難誘導灯交換工事 ・花崎北小学校ボイラー撤去及び煙突内アスベスト安全対策工事 ・高柳小学校外エアコン交換工事 ・不動岡小学校避難誘導灯交換修繕 ・高柳小学校外浄化槽修繕 ・種足小学校外漏水調査業務委託	1・目標を達成	指標(単位)	小学校施設の大規模改修工事実施率 〔大規模改修工事実施済棟数/大規模改修工事が必要な棟数×100〕 (%) ※非木造2階建以上、築後30年以上の棟を対象					長寿命化計画に基づき、全面的なトイレ改修・トイレ洋式化、校舎の木質化やバリアフリー化などを含めた大規模改修工事等を実施する。 校舎、体育館等の雨漏り対策について、修繕工事で対応できないものについて、適切な手段を選択し対策を講じる。
		年度	28年度			29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)			
	目標	73	73			73	73	77				
	実績	73	73			73	73	77				
	計画どおり、施設の修繕、改修工事等が実施できた。しかし、施設の老朽化が進んでいるため、令和3年3月に策定した加須市学校施設長寿命化計画を踏まえて、中長期的な計画全体の見直しが必要。											
	※樋遣川小エアコン設置工事、加須小、花崎北小、田ヶ谷小、種足小、原道小のプール循環ポンプ等交換工事、元和小コンピュータ教室の普通教室化改修工事、加須小特別支援教室の増加に伴う校内LAN整備工事、大越小、元和小の体育館屋根改修工事、花崎北小バルコニー防鳥ネット設置工事、加須小、不動岡小、樋遣川小、元和小の備品購入は、令和2年度内に完了しないため、59,778,885円を令和3年度へ繰り越した。											
	予算額	819,090千円										
	決算額	693,898千円										
	執行率	85%										

基本目標1 確かな学力と学ぶ力を育成します

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
33	1212-06	中学校施設整備事業	学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な学習環境を確保する。	・加須市学校施設長寿命化計画策定 ・【繰越】加須平成中学校外エアコン交換工事 ・騎西中学校避難誘導灯・自動火災感知器交換工事 ・騎西中学校外エアコン交換工事 ・北川辺中学校南グランド防球ネット損傷範囲緊急撤去工事 ・加須西中学校外避難誘導灯交換修繕	2・概ね達成	指標(単位)	中学校施設の大規模改造工事実施率 〔大規模改造工事実施済棟数/大規模改造工事が必要な棟数×100〕 (%) ※非木造2階建以上、築後30年以上の棟を対象
						年度	28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)
						目標	31 38 50 63 63
						実績	31 56 56 56 56
						計画を概ね達成した。施設の修繕、改修工事等は実施できた。しかし、施設の老朽化が進んでいるため、令和3年3月に策定した加須市学校施設長寿命化計画を踏まえて、中長期的な計画全体の見直しが必要。 ※北川辺中特別教室棟1階トイレ改修工事、加須平成中、加須東中、北川辺中の備品購入は、令和2年度内に完了しないため、13,993,000円を令和3年度へ繰り越した。	
34	1132-01	公立幼稚園施設整備事業	公立幼稚園の施設整備を行い、教育環境の充実を図る。	・樋遭川幼稚園及び大越幼稚園園舎の耐震補強工事 ・学校施設長寿命化計画の策定	1・目標を達成	指標(単位)	学校施設(園舎)耐震化率 〔(全棟数－耐震化の必要な棟数) / 全棟数×100〕 (%) ※非木造で2階建て以上又は200㎡を超える建物が対象
						年度	28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)
						目標	88 88 88 94 94
						実績	88 88 88 88 100
						耐震化が未完了であった樋遭川幼稚園と大越幼稚園園舎の耐震補強工事を実施し、市内の公立幼稚園の耐震化が全て完了した。	
0109-02	教育総務課	中学校8校について、環境改善を要する施設を常に把握し、優先度を判断して計画的に修繕、改修工事及び施設備品の購入を行う。		予算額	42,964千円		
				決算額	39,168千円		
				執行率	91%		
0109-03	保育幼稚園課	第2期加須市子ども・子育て支援計画に基づき、計画的に施設の修繕、改修、改築等を行う。		予算額	52,908千円		
				決算額	41,264千円		
				執行率	78%		

基本目標2 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む取組を推進します

施策1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

【事業】

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
35	1212-07	小学校健康推進事業	学校保健安全法に基づき小学校児童及び教職員の健康管理をすることで、教育環境の充実を図る。	・法に基づく健康診断の実施及び検査結果の報告 ・歯科衛生士による歯磨き指導の実施 ・学校の環境衛生検査の実施 ・教職員の健康診断(養護教諭のB型肝炎予防接種)及びメンタルヘルスに係るストレスチェックを実施 ・健康診断に係る備品の把握及び整備 ・アレルギー発生時に対応した職員研修等の充実	2・概ね達成	指標(単位)	児童のう歯治療率 (%)					児童の口腔衛生を促進するために、養護教諭の取組や治療勧告の状況などを共有できる研修会等を開催していく。
		年度	28年度			29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)			
	目標	96	96			96	96	96				
	実績	93.7	91			94.4	93	87.8				
	歯みがき指導等により、口腔衛生の必要性・重要性を理解させる健康教育を実施し、検診等で早期発見に努めている。											
	0201-01	学校教育課	学校保健安全法に基づく児童の健康診断(内科・歯科検診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査)を実施する。 フッ素塗布、歯磨き指導を実施する。 教職員の健康診断、胃がん、大腸がん検診及びストレスチェックを実施する。 学校環境衛生検査を実施する。 食物アレルギーに関する職員研修を充実する。			予算額	77,004千円					
決算額				69,450千円								
執行率				90%								

基本目標2 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む取組を推進します

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
36	1212-08	中学校健康推進事業	学校保健安全法に基づき生徒及び教職員の健康を管理することで、教育環境の充実を図る。	・法に基づく健康診断の実施と検査結果の報告 ・歯科衛生士による歯科指導の実施 ・学校の環境衛生検査の実施 ・教職員の健康診断（養護教諭のB型肝炎予防接種）及びメンタルヘルスに係るストレスチェックの実施 ・健康診断に係る備品の把握及び整備 ・アレルギー発生時に対応した職員研修等の充実	2・概ね達成	指標(単位)	生徒のう歯治療率 (%)					生徒の口腔衛生を促進するために、養護教諭の取組や治療勧告の状況などを共有できる研修会等を開催していく。
		年度	28年度			29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)			
		目標	96			96	96	96	96			
		実績	94.4			94.3	94.4	96.1	95.7			
		各学校では、生徒の健康維持・向上の目指し、歯科指導や学校保健委員会を定期的に開催している。										
0201-02	学校教育課	学校保健安全法に基づき生徒の健康診断等（内科検診、歯科検診、尿検査、心電図検査、貧血検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査）を実施する。 教職員の健康診断、胃がん、大腸がん検診及びストレスチェックを実施する。 生徒に歯科指導を実施する。 学校環境衛生検査を実施する。 食物アレルギーに関する職員研修を充実する。	予算額	34,534千円								
			決算額	32,201千円								
			執行率	93%								

施策2 いじめ・不登校の根絶

【事業】

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
37	1213-01	いじめ・ 不登校対 策事業	すべての児童生徒が楽し く、安心して学校に通えるよ う、市立小・中学校における いじめの問題を根絶し、併せ て不登校問題の解消を目指 す。	・不登校問題対策委員会 (年2回)での情報交換や 有効な対応策の検討 ・教育センターを校とした 教育相談活動の展開 ・スクールカウンセラー等 による教育相談活動の充実 ・「個別支援シート」の積 極的な活用 ・「加須市いじめの防止等 のための基本的な方針」に 基づく取組の推進 ・「いじめ撲滅メッセー ジ」等による啓発運動の推 進	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	不登校児童の割合(小学校)(%)					校内の組織やスクールカウ ンセラー、さわやか相談員を活用する とともに、スクールソーシャ ルワーカーや関係機関と連携し、組 織的に対応にあたる。 「加須市いじめ防止等のための 基本的な方針」に基づき、いじめ 撲滅期間を活用し、取組を充実さ せる。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	0	0	0	0	0	
						実績	0.10	0.09	0.50	0.36	0.43	
	0202-01	学校教育 課	指標(単位)			不登校生徒の割合(中学校)(%)						
			年度			28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)		
			目標			0	0	0	0	0		
			実績			1.88	2.16	3.47	2.63	3.66		
			不登校児童生徒については、増加傾向にあり、対応は喫 緊の課題である。									
			予算額			16,597千円						
			決算額			15,655千円						
			執行率			94%						
38	1213-03	教育セン ター運営 事業	不登校児童生徒の学校復帰 による不登校の解消を図るた め、教育相談を充実させると ともに、児童生徒の生きる力 を育成するため、教職員の資 質向上に向けた研修の充実を 図る。	・不登校児童生徒の学校復 帰を目指すための「学習室 ピア」を運営 ・教育相談の実施(教育課 程研究室、相談室の活用) ・教職員研修を16講座実 施 ・教育センター企画立案の 各種研修会を実施	6 ・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	「参加してよかったと感じた研修会」 をあげた教職員数の割合(%)					新型コロナ感染症拡大防止の観 点から、教職員研修については、 内容を精選し、オンライン等を活 用し実施する。 「学習室ピア」の運営にあつたて は、引き続き感染症対策を行った 上で、不登校児童生徒の支援を 行っていく。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	100	100	100	100	100	
						実績	100	100	99	99	—	
	0202-02	学校教育 課	新型コロナ感染症拡大防止の観点から、教育センター主 催の研修会を中止とした。そのため、教職員へのアンケ ートは実施できなかった。 「学習室ピア」の運営にあつたては、感染症対策を十分に 行った上で実施した。不登校児童生徒の学校復帰に向け て指導を行い、成果を上げた。									
			予算額			18,557千円						
			決算額			15,511千円						
			執行率			84%						

基本目標2 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む取組を推進します

施策3 食育の推進

【事業】

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
39	1214-01	給食センター管理 運営事業	児童生徒の心身の健全な発達に資するため、学校給食センターを適正に管理運営し、栄養バランスに優れた安全安心な学校給食を提供する。	・児童生徒に安全安心でおいしい給食を提供 ・施設設備の維持管理及び衛生管理の徹底 ・学校給食センター運営委員会の開催 ・食物アレルギー対策と食育の推進 ・学校の臨時休業により、授業日数が減ってしまったため、7、8、12月の給食回数を増加	1・ 目標を達成	指標(単位)	学校給食提供日数（率）（％）					児童生徒園児に安全安心な給食を提供する。 安全で安心な給食の提供のため、設備の維持管理及び衛生管理の徹底を図る。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
	目標	100	100	100		100	100					
	実績	100	100	100		100	100					
	3センターとも衛生管理を徹底した結果、事故等による給食停止日は発生せず、目標どおり給食が提供できたため。											
0203-01	学校給食課	各給食センターの施設を最大限に活用し栄養バランスに優れた安全安心でおいしい給食を継続的に提供する。 各給食センターの維持管理及び衛生管理の徹底を図る。 また必要に応じて修繕を行う。 衛生管理意識徹底を図るため、調理等業務従事者を対象に衛生講習会を実施する。 地場産野菜使用の拡大を図る。	予算額	674,700千円								
			決算額	647,712千円								
			執行率	96％								
40	1214-03	給食費収納対策事業	保護者からの学校給食費の収納を確実に行うことにより、学校給食提供に係る財源を確保する。	・未納状況の把握 ・督促状・催告書の送付 ・電話催告の実施 ・臨宅徴収の実施 ・法的措置の実施 ・成果の確認	2・ 概ね達成	指標(単位)	現年度収納率の向上（％）					今後も学校と連携し、早期着手に努め、収納対策を実施していく。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
	目標	100	100	100		100	100					
	実績	99.99	99.97	99.95		99.97	99.93					
	現年度分については、未納が3ヶ月続いた場合、学校と連携し、未納状況を把握するとともに、児童手当からの納付など、早期着手を念頭におき、収納対策を実施したため。											
0203-02	学校給食課	保護者に給食費納入の重要性について説明をする。 収納状況を正確に把握する。 学校と連携し、滞納家庭に納入を督促する。 必要に応じて面談や臨宅徴収を行う。	予算額	0千円								
			決算額	0千円								
			執行率	—								

施策4 子育て支援の充実

基本目標2 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む取組を推進します

施策5 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

【事業】

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
41	1221-01	学校いきいきステーション事業	公立学校（園）の一層の活性化と家庭や地域の教育力の向上のため、学校及び幼稚園・家庭・地域が一体となって子どもの健全育成を目指す。	・「ふれあい推進長」の委嘱と「学校（幼稚園）応援団」の組織 ・「学校（幼稚園）応援団」による学校（園）の教育活動の具体的支援（学習支援、登下校時の安心・安全の確保、学校（園）の環境整備など） ・子ども110番の家の委託	2・概ね達成	指標(単位)	幼稚園応援団に登録する市民の数（人）					今年度においても、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施方法を検討するとともに、依頼する活動を精選していく。 新規登録者を増やし、継続的かつ充実した活動が展開できるようにしていく。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
						目標	220	220	220	220	220	
						実績	243	255	263	219	250	
	0205-01	学校教育課	すべての公立学校（園）に、学校（園）と家庭・地域社会の橋渡しとなる「ふれあい推進長（学校応援コーディネーター）」を委嘱し、ボランティアからなる「学校（幼稚園）応援団」を組織する。「学校（幼稚園）応援団」を活用しながら学校（園）・家庭・地域が一体となって様々な活動を展開することで、子どもの健全育成に取り組む。			指標(単位)	学校応援団に登録する市民の数（人）					
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
						目標	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	
						実績	4,497	4,481	4,586	4,254	4,167	
						新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校応援団の協力をいただくことが難しい活動もあった。しかし、各園・各校が実施方法を工夫し、特に屋外の教育活動においては、多くの方に協力をいただき、学校・家庭・地域が一体となった活動を展開できた。						
						予算額	4,448千円					
						決算額	4,226千円					
						執行率	95%					
42	1221-05	地域密着型教育広報事業	地域密着型教育を進展させるために、学校等の情報を広く地域に広報することを目指す。	・各学校のホームページの適切な管理と指導 ・各学校の掲示物の本庁舎及び各総合支所への掲示 ・マスコミ各社への積極的な情報提供	2・概ね達成	指標(単位)	掲示コーナーに掲示したパネル数（枚）					今後もパネル公開を計画的に実施し、学校等の情報を広く地域に広報していく。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
						目標	624	624	624	624	624	
						実績	624	624	624	609	577	
	0205-02	学校教育課	各学校のホームページ及び庁舎内の掲示コーナーを活用して、各学校（園）の教育活動を市民へ公開し、学校教育に対する理解を深める。			目標値には達しなかったが、各学校（園）の特色ある教育活動を計画的にパネル公開した。						
						予算額	0千円					
						決算額	0千円					
						執行率	—					

基本目標2 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む取組を推進します

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
43	1221-06	あいさつ ふれあい 推進事業	心のふれあいまちづくりの ために、あいさつを通して、 児童生徒の心の教育の推進や 地域の防犯意識の高揚を目指 す。	・年間を通した継続的な取 組と強化期間を設定しての 重点的な取組の実施 (キャッチフレーズ、ロゴ マークの周知、活用、イベ ントや駅前キャンペーン等 の実施) ・市民協働推進課主管の 「家族・地域の絆推進運 動」の計画を基にした、実 働的なあいさつ運動の展開 ・学校や行政機関へのPR グッズの配布	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	地域の方にあいさつをしている児童生 徒の割合※「家庭・地域の絆推進運 動」アンケート結果より (%)					新型コロナウイルスの感染者の 状況を見ながら、あいさつ運動の 実施や必要な感性症対策等を検討 していく。 さわやかなあいさつが、当たり 前のように交わされる加須市をめ ざして、PR活動は継続してい く。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	100	100	100	100	100	
						実績	94	84	87	83	77	
	0205-03	学校教育 課	教育機関、地域、行政機関 等が一体となった市を挙げた 「加須市あいさつ運動～あい さつ さわやか かそのまち ～」を推進する。 年間を通した継続的な取組 及び5月と10月に強化期間を 設定しての取組を実施する。			指標(単位)	「加須市あいさつ運動」のPRグッズ を常設している学校の割合 (施設)					
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	100	100	100	100	100	
						実績	100	100	100	100	100	
						新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、教育機 関・地域・行政機関が一体となったあいさつ運動は実施で きなかった。						
						予算額	380千円					
						決算額	215千円					
						執行率	57%					
44	1222-01	家庭の学 びと地域 の絆推進 事業	家族・地域の絆づくりの一 層の推進のため、「家庭の教 育力」と「地域の教育力」の 向上を図る。	・絆啓発講座「就学前子育 て講座」「親の学習講座」 「家庭教育学級」の内容充 実実施(各公民館、各文 化・学習センター) ・市民まつり等のイベン トを活用した絆運動のPR ・関係団体との連携によ るポケットティッシュの配 付 ・加須市あいさつ運動 ・家庭教育アドバイザーと の連携	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	「就学前子育て講座、親の学習講座、 家庭教育学級」の延べ参加者数 (人)					新型コロナウイルス感染症拡大 防止の観点から、安全面を第一優 先とし、学習ニーズを的確にとら え、可能な取り組みから従来の事 業展開に戻す。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	2,015	2,065	2,115	2,165	2,215	
						実績	1,955	2,059	1,989	2,085	431	
	0205-05	生涯学習 課	家族や地域の絆を深めるた めに「就学前子育て講座、親 の学習講座、家庭教育学級」 を子育て中の保護者を対象に 開催するなど、子どもと親の 育ちを応援する学びの機会を 充実する。 関係団体と連携して絆づく り啓発品を配付しながらあい さつ運動を継続する。			新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、安全面 を第一優先に事業規模を縮小して実施してきた講座もある が、多くの講座等が中止となった。						
						予算額	174千円					
						決算額	10千円					
						執行率	6%					

基本目標2 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む取組を推進します

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
45	1222-02	かそ子ども大学事業	地域で子どもを育てるしくみをつくり、地域の教育力向上を図る。	・「子ども大学かそ実行委員会」に参画 ・入学・修了式、講義を年間5回程度実施	6・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) 子ども大学かそ参加者数(対象：小学4～6年) (人)	新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視し、事業の実施を検討していく。
	0205-06	子育て支援課	子ども大学実行委員会に参画し、入学・修了式のほかに年間5回程度の講義を行う。講義内容は、「はてな学」、「ふるさと学」、「生き方学」の3つのテーマを学習する。	・「発表・交流会」に参加 ・平成国際大学に対し開催の依頼 ・参加者数の増加を図るため、魅力ある講義を実施	年度	28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)	
					目標	60 50 50 50 50	
					実績	25 56 50 54 29	
				予算額 259千円 決算額 15千円 執行率 6%		新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、応募人数が減少したため。 (予算執行率が0～20%の理由) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、講義回数の減少および修学旅行が中止となったため。	
46	3122-03	通学路安全対策事業	市内の子どもたちの安心・安全の確保のため、登下校において、事故やけがなどによる負傷を避け、安全に登下校できるよう、速やかな対応による通学路環境の改善を目指す。	・市立各小・中学校による通学路安全点検の実施 ・市立各小・中学校の報告に基づき、関係各課等と連携した迅速な安全対策	2・ 概 ね 達 成	指標(単位) 通学路安全対策事業要望に対する対応割合 (%)	今後も各校の要望に基づいて、通学路の安全対策を講じていく。
	0205-07	学校教育課	各学校による通学路の安全点検の結果報告をもとに現地調査を行い、関係課や関係機関と協議の上、対策案を立案し、安全対策を講じる。		年度	28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)	
					目標	100 100 100 100 100	
					実績	100 100 100 100 100	
				予算額 4,000千円 決算額 3,454千円 執行率 86%		各校から47箇所の要望が寄せられた。うち7箇所については、市で直接対応した。その他40箇所については、関係機関、関係課等への対応を依頼した。	

施策6 青少年の健全育成の推進

【事業】

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
47	1223-01	成人式開催事業	青少年の健全育成のため、新成人を祝い、励まし、成人としての意識の高揚と自覚を促す。	・各地域成人式実行委員会を組織 ・「成人の日」前日の日曜日、市内4会場で式典やアトラクション等を実施	2・概ね達成	指標(単位)	成人式出席率(新成人の内、実際に成人式に出席した人数の割合) (%)					成人式実行委員会の主体的な運営により、式典を運営し、多くの出席者を得て開催することで、成人としての意識の高揚と自覚を促す。
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度	2年度(目標年)				
	目標	85	85			85	85	85				
	実績	76	74			71	71	70				
	実行委員会と協働し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した式典を実施することができ、新成人の自覚と意識の高揚が図られた。											
	0206-01	生涯学習課	成人式実行委員の協議・運営により、成人式典および各地域毎のアトラクションを行う。	予算額	2,177千円							
				決算額	1,331千円							
				執行率	61%							
48	1223-02	青少年健全育成事業	青少年の健全な発達を促し、自主性・社会性や正義感・倫理観を持った豊かな人間性を育むため、地域と一体となった青少年関係団体の活動の充実を図る。	・青少年を健やかに育成する団体及び青少年団体の活動への支援（PTA連合会、加須市青少年育成市民会議、青少年相談員協議会、子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト、ガールスカウト） ・少年の主張大会開催 ・非行防止キャンペーンの継続的な活動	6・コロナによる影響	指標(単位)	少年の主張、講演会の観客来場人数 (人)					新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、安全面を第一優先とし、各種団体の動向を注視しつつ、可能な取り組みから従来の事業展開に戻す。
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度	2年度(目標年)				
	目標	600	600			600	600	600				
	実績	557	546			555	569	0				
	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、安全面を第一優先に事業規模を縮小して実施してきたが、少年の主張大会は発表を中止し各学校を通じ、表彰のみを行った。											
	0206-02	生涯学習課	青少年の健全な発達および地域の教育力の向上のため、青少年関係団体の活動を支援したり、青少年関係団体と連携し協働で事業を行う。	予算額	3,007千円							
				決算額	1,528千円							
				執行率	51%							

基本目標3 人権を尊重した教育を推進します

施策1 学校等における人権教育の推進

【事業】 【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
49	6211-07	集会所管理運営事業	集会所での諸活動を通して、人権感覚を高め、人権問題の解決を図る。	・人権教育推進員による、小中学生学級や成人学級の指導、支援 ・集会所の鍵の貸出、清掃等のための集会所管理人の配置	6・コロナによる影響	指標(単位)	集会所年間利用者数 (人)					小中学生学級や成人学級を開催し、集会所を積極的に活用していく。来館者が安心して利用できるよう、施設の修繕等を行っていく。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
	目標	10,860	10,870	10,880		10,890	10,900					
	実績	10,233	12,617	11,278		12,037	2,371					
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、成人学級の講座の縮小や小中学生学級の会場変更により、利用人数が大幅に減少した。しかし、少ない利用のなかでも、開催した講座を通して、利用者の人権意識を高めて、人権問題解決に寄与することができた。											
	予算額		7,231千円									
0301-01	生涯学習課	人権教育推進員による、小中学生学級、成人学級の指導・支援。 集会所管理人の配置。 集会所運営委員会の開催。 集会所の維持管理、修繕の実施。	・集会所事業の企画運営のための運営委員会の開催 ・集会所の保守・修繕等の維持管理 ・公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合や再配置の検討	決算額		5,932千円						
				執行率		82%						

施策2 家庭、地域社会における人権教育の推進

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 の取組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
50	6212-01	人権教育 推進事業	豊かな人権感覚を身につけ、人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権が尊重される共生共存の社会の実現を図る。	・人権問題指導者研修会や人権問題講演会等の開催 ・人権啓発事業の実施 ・加須市人権教育推進協議会への補助 ・集会所の小中学生学級や成人学級の実施 ・同和対策運動団体の対応	6・コロナによる影響	指標(単位)	人権教育推進事業への延参加者数 (人)					コロナ禍においても、大人数を集めることは難しい。しかし、このような社会状況であるからこそ、人権意識を高める啓発を行い、人権問題を解決していく。	
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)		
						目標	8,450	8,500	5,500	5,500	5,500		
						実績	5,606	6,153	5,638	5,522	1,886		
						指標(単位)	人権問題講演会等の延受講者数 (人)						
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)		
						目標	2,300	2,310	1,700	1,700	1,700		
						実績	1,716	1,927	1,731	1,650	312		
	0302-03	生涯学習 課	市民が豊かな人権感覚を身につけ、さまざまな人権問題の解決に資することができるように、各種研修会や講演会を実施する。			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人権問題講演会及び人権問題地域別研修会の中止や人権問題指導者研修会を5回から3回への規模縮小により、参加人数が大幅に減少した。しかし、人権啓発展の開催、広報紙への人権記事の掲載、リーフレット発行配布など、できる限りの啓発を行った。							
				予算額	8,369千円								
				決算額	2,126千円								
				執行率	25%								

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

施策1 生涯学習活動の促進

【事業】

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
51	1311-01	生涯学習 推進計画 策定事業	学習機会の充実や学習情報の提供、学習相談の充実、自主学習活動の支援など、市民の学習活動を支援する環境整備を推進するために、策定する。	・次期生涯学習推進計画策定のための生涯学習実態調査(市民意識調査)の実施(アンケート発送・回収)		2・概ね達成	これまで取り組んできた施策の成果を活かしながら、社会環境の変化や個人の価値観や学習ニーズの多様化を踏まえて、本市の生涯学習施策をより総合的・計画的に推進するために、令和3年3月に「第3次生涯学習推進計画」を策定した。						「第3次生涯学習推進計画」については、今後「生涯学習推進計画進行管理事業」において、進行管理を行う。 令和6年度に実施予定である「生涯学習実態調査（市民意識調査）」の回答率向上のため、実態調査の調査項目や回答方法について考察していく。	
		0401-01	生涯学習課	計画の着実な推進のために、策定した計画に基づく事業を円滑に実施し、実施状況の点検、評価等を行い、目標値の達成を目指す。	予算額									66千円
			決算額	54千円										
			執行率	82%										
52	1311-02	生涯学習 推進計画 進行管理 事業	市民の生涯学習活動の充実を図るため、学習機会の拡充や学習情報の提供、学習相談の充実、自主学習活動の支援など、市民の学習活動を支援する環境整備を計画的に推進する。	・事業の実施状況の点検、評価、進行管理 ・生涯学習推進会議の開催		6・コロナによる影響	指標(単位)	事務事業達成度における全事業数に対する「概ね順調」「達成済」の割合 (%)					「第2次加須市生涯学習推進計画」の状況を踏まえ、「第3次加須市生涯学習推進計画」に位置付けられた各種事業の推進について、適正な管理を行っていく。	
		年度	28年度	29年度	30年度		元年度	2年度(目標年)						
		目標	90	80	81		82	83						
		実績	76	89	89		91	100						
	0401-02	生涯学習課	計画の進捗状況の把握及び点検、評価を実施するとともに、推進会議や市民等からの助言や意見等を踏まえ、適切な進行管理を行う。	予算額	132千円		生涯学習推進会議を開催し、生涯学習推進会議委員が生涯学習推進計画の進行管理をチェックすることで、適切な進行管理が図れた。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、37事業中28事業が「コロナによる影響」の評価となり、それを除いた9事業については目標を達成できたが、評価については「コロナによる影響」とした。							
		決算額	64千円											
		執行率	48%											

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
53	1311-03	生涯学習 管理事業	豊かな心を育む生涯学習に よるいきがづくりを行うた めに、生涯学習における予算 の適正な管理運営を行う。	・事務経費管理執行 ・専門的知識の習得のため、 社会教育主事講習の受講 ・社会教育委員による県、 北埼玉、研修会等への参加 ・北埼玉地区社会教育委員 協議会の幹事市となる。	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	加須市社会教育委員の総会等・研修会 への参加 (回)	生涯学習活動を行うためには、 必要な事業であり、引き続き適正 に運営管理を行う。				
		年度				28年度	29年度		30年度	元年度	2年度 (目標年)	
		目標				—	—		8	8	8	
		実績				—	—		7	7	0	
		新型コロナウイルス感染症感染防止のため、会議・研修 会等は全て中止となった。 経常的な事務経費等は、滞りなく執行した。										
0401-03	生涯学習 課	生涯学習課における管理運 営に係る事務経費を執行す る。 社会教育委員による各種総 会、研修会への参加。 継続的に社会教育主事講習 の受講。	予算額	1,916千円	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	新型コロナウイルス感染症感染防止のため、会議・研修 会等は全て中止となった。 経常的な事務経費等は、滞りなく執行した。	生涯学習活動を行うためには、 必要な事業であり、引き続き適正 に運営管理を行う。					
	決算額		728千円									
	執行率		38%									
54	1311-04	生涯学習 きっかけ づくり支 援事業	市民の学習参加のきっかけ づくりと生涯学習活動を促進 するために、市民一人ひとり がそれぞれの年代やライフス タイルに応じて、自由に学 び、楽しみ、その学習成果を 地域社会に活かせる仕組みを 整備し、併せて地域の活性化 を促進する。	・生涯学習セミナー（講 座）の開催 ・公民館講座の開催 ・市民講師や生涯学習ボラ ンティアを積極的活用 ・市民講師やクラブ・サー クル情報の更新 ・生涯学習情報紙等やHP の充実 ・生涯学習セミナーでの専 門講師の積極的登用	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	公民館や文化・学習センターでの講座 の受講者数 (人)	市民企画委員「アシストかぞ」 や各生涯学習推進員との協働により 先駆的・話題性のあるテーマの セミナー（講座）を（企画・運 営）するだけでなく、利用者の ニーズに合ったセミナー（講座） が実施できるよう情報収集を行う ことで、更なる利用者数の増を 図っていく。 引き続き、市民企画委員「アシ ストかぞ」としての活動を紹介す ることでその魅力を発信し続けて いき、新規委員の募集を行ってい く。 市民講師の情報をデータベース として整備し、市民等からの問い 合わせに的確かつ迅速に答えてい く。				
		年度				28年度	29年度		30年度	元年度	2年度 (目標年)	
		目標				14,600	14,700		14,800	14,900	15,000	
		実績				11,790	11,487		12,062	12,016	0	
		指標(単位)				生涯学習市民企画委員延べ人数 (人)						
	0401-04	生涯学習 課	先駆的、話題性のあるテー マのセミナー（講座）を公民 館、文化・学習センター等と 連携し、開催する。 生涯学習情報を掲載した情 報紙等を充実させ、市民へ啓 発周知する。	・生涯学習セミナー（講 座）の開催 ・公民館講座の開催 ・市民講師や生涯学習ボラ ンティアを積極的活用 ・市民講師やクラブ・サー クル情報の更新 ・生涯学習情報紙等やHP の充実 ・生涯学習セミナーでの専 門講師の積極的登用		年度	28年度		29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)
						目標	280		285	290	295	300
						実績	274		279	292	309	322
						生涯学習課主催又は共催のセミナーを企画、各公民館で は高齢者や家庭、地域の方等を対象とした各種講座を企画 したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止と なった。 市民ボランティア（市民企画委員「アシストかぞ」）と の協働により事業を実施（企画）することで、市民との協 働による生涯学習を推進した。 「ライフステージ」や生涯学習情報紙「やってみません か」に市民企画委員「アシストかぞ」としての活動を紹介 し、募集を行った。 市民講師の台帳更新をするとともに、登録者数を増や し、イベントや各種セミナー（講座）での活用を推進し た。						
						予算額	1,070千円					
						決算額	199千円					
						執行率	19%					

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
55	1311-05	市民学習 力レッジ 事業	市民一人ひとりの生涯学習 を通じた学習参加のきっかけ づくりと学習活動を支援する ため、市全体を対象として生 涯学習の広がりや深まりを求 めた学習機会を提供する。	・市民学習力レッジセミ ナーの実施 ・加須市生涯学習市民企画 委員会の開催 ・かぞ生涯学習フェスティ バルの開催 ・市民学習力レッジ募集号 (ライフステージ)の発行	6 ・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) 市民学習力レッジの受講者数 (人)	市民企画委員「アシストかぞ」 や協働によりバラエティ豊かなセ ミナー(講座)を実施(企画・運 営)するだけでなく、市民のニ ーズに合ったセミナー(講座)が実 施できるよう情報収集を行うこと で、更なる講座の質の向上を図っ ていく。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度 (目標年)	
	0401-05	生涯学習 課	公民館、文化・学習セン ター等と連携を図り、市民講 師や市内講師、市内全域の会 場を活用し、趣味的教養的セ ミナーや現代的、社会的課題 を取り入れた総合的な幅広い セミナーを実施。 全市民対象のセミナーを毎 年度4月に概ね60セミナーを 募集、開講。 生涯学習を循環させるため の、生涯学習フェスティバル などのイベント等を開催す る。			目標 3,850 3,900 3,950 4,000 4,050	
						実績 2,985 3,189 4,144 3,875 0	
						指標(単位) 市民学習力レッジサークル化率 (%)	
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度 (目標年)	
						目標 12 12 13 13 14	
						実績 11 11 19 12 -	
						生涯学習を推進するため、市民ボランティア(市民企画 委員「アシストかぞ」と協働で、生涯学習課主催又は共 催のセミナーとして65講座を企画したが、新型コロナウ イルス感染症の影響を受け、中止とした。	
						予算額 2,923千円	
						決算額 29千円	
						執行率 1%	
56	1311-06	シニアい いき大 学事業	高齢社会を明るく活気に満 ちたものとしていくため、60 歳以上の市民が健康で主体的 に学習に参加し、自発的な学 習活動を促進する機会を平成 国際大学と連携して提供し、 高齢者の力を社会に活かして	・社会科学部を継続して開 校 ・人文科学部を新たに開校 ・平成国際大学の専門的な 講師を活用 ・専門的な内容の講義を実 施 ・卒業生の活用、地域貢献 (自主活動サークル相互交流 の支援など)	6 ・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) シニアいきいき大学生徒数 (人)	平成国際大学と調整を行い、受 講生にアンケートを行い、潜在 的ニーズに合った講義内容を組み入 れて、引き続き受講生の募集を 行っていく。また、期別自主活動 サークルや期別を超えた同窓会 サークルの円滑な活動に向けた支 援を行うとともに、卒業生の地域 ボランティア(生涯学習市民企画 委員等)への登用を促進する。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度 (目標年)	
	0401-06	生涯学習 課	より専門的な学習の場を提 供することにより、受講生の 学習活動の促進及びまちづく りへの参加を促進する。 60歳以上の加須市在住の方 を対象に学部・コースを開 設、平成国際大学と連携して 実施する。 1学部2年間実施する。 卒業生のグループ化を図 り、グループ結成後は、その 活動の支援を行う。			目標 158 160 162 164 166	
						実績 161 104 198 239 91	
						新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、平成国際 大学と調整した結果、令和2年度継続して開校予定であ った人文科学部と新たに開校予定であった自然科学部の両学 部コースを共に1年間休止し、翌年度に延期をした。	
						予算額 767千円	
						決算額 0千円	
						執行率 0%	

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
57	1312-01	文化・学 習セン ター管理 運営事業	市民の芸術文化活動や生涯 学習活動の拠点施設として、 より多くの市民が安全かつ快 適に利用できるよう施設の整 備・充実を図る。	・公共施設等総合管理計画 を踏まえた計画的な施設修 繕 加須：自動ドア開閉交換 修繕、ホールカメラ修繕 騎西：消防設備修繕、補 給水配管修繕 北川辺：誘導灯、非常照明 等バッテリー交換 大利根：舞台ワイヤー交 換修繕、浄化槽制御盤修繕 ・適正な貸館業務 ・施設の快適な環境整備	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	4施設延べ利用者数 (人)					市民に快適に施設利用がされる よう、引き続き、計画的に施設修 繕を進め、施設予約状況等をホー ムページで周知していく。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
	目標	255,000	260,000	265,000		270,000	275,000					
	実績	236,717	253,224	247,323		225,259	59,944					
	施設管理については、各施設ともに計画通りに修繕等を 実施できた。新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講ず ることができたものの、各部屋ごとに利用人数を半分に制 限するなど、利用人数は大幅に減少したため。											
0401-07	文化・学 習セン ター	センターの適正な管理運営 と計画的な施設修繕を実施す るため、運営方法の適時改善 及び維持管理の効率化、設備 の点検・改修を実施する。	予算額	234,505千円								
			決算額	137,891千円								
			執行率	59%								
58	1312-02	加須未来 館管理運 営事業	市民の宇宙や科学に関する 関心を高めるため、宇宙・天 体や科学について楽しく学び ことができる教育施設として の機能の充実を図る。	・加須未来館の適正な施設 管理 ・プラネタリウムの投影 (人数制限あり)及びプラ ネタリウムを活用したイベ ントの実施(中止) ・発明クラブやフリー・ト ライダー等自主事業の実施 (休止中) ・ラベンダー祭 りロボットゆうえんちの開 催(中止) ・加須 未来館プラネタリウムの維 持管理及び保守	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	プラネタリウム観覧者数 (人)					人気、魅力あるプラネタリウムの 番組を導入する。市内小中学生 へのチラシ配布のほか、他自治体 の小中学生に向けて案内チラシを配 布する。 また、SNS,市HPを積極的に活 用し、効果のある情報発信を模索 する。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	20,500	21,000	21,500	22,000	22,500	
						実績	14,086	14,681	17,288	12,590	1,819	
	0401-08	文化・学 習セン ター	宇宙・科学を始め、様々な ことに興味・関心を抱き、何 事にもチャレンジしていく好 奇心を養うため、プラネタリ ウム投影や少年少女発明クラ ブ、フリー・トライダー、天 体学習会等を開催する。	指標(単位)		加須未来館年間来館者数 (人)						
				年度		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)		
				目標		101,000	102,000	103,000	104,000	105,000		
				実績		96,007	92,806	87,340	81,123	19,341		
施設管理については、計画的に適切な維持修繕が図ること ができた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講ずることがで きたものの、各種事業の中止やプラネタリウムの入場制限 を行うなど、入場者数が大幅に減少したため。												
0401-08	文化・学 習セン ター	宇宙・科学を始め、様々な ことに興味・関心を抱き、何 事にもチャレンジしていく好 奇心を養うため、プラネタリ ウム投影や少年少女発明クラ ブ、フリー・トライダー、天 体学習会等を開催する。	予算額	50,445千円								
			決算額	26,815千円								
			執行率	53%								

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
59	1312-03	公民館施設整備事業	公民館施設の整備充実を行い、利用者が安心・安全に利用できる公共施設として、公民館活動、市民活動及び生涯学習の振興を図る。	・修繕、工事の執行、備品の購入 ・中・長期の修繕及び工事計画、備品購入計画等の見直し検討	2・概ね達成	・礼羽公民館出入口修繕 ・大越公民館門柱撤去工事及び警備センサー工事 ・水深公民館、志多見公民館、大越公民館施設用備品購入	各公民館と情報を共有し、業務の効率化や利用者からの要望等を踏まえた修繕及び備品配置を計画的に行っていく。 公共施設等個別施設計画を策定し、再整備手法やスケジュール等を整理する。					
	0401-09	生涯学習課	公民館施設の利便性の向上を図るため、老朽化した施設や備品を計画的・緊急的に修繕並びに整備を行い、利用者の安全安心な学習環境を整備する。 耐震診断結果を踏まえ、他の公共施設との複合化も含めた再整備を検討する。			公民館施設環境の維持・向上に努めた。各公民館の再整備について、整備計画や地域の状況を踏まえ検討した。						
		予算額	15,988千円									
		決算額	14,003千円									
			執行率	88%								
60	1312-04	公民館管理運営事業	地域住民のニーズに沿った公民館事業を効果的に展開することで生活文化の振興、福祉の充実を図るため適正な施設管理を行う。	・公民館施設管理及び運営 ・公民館長、公民館職員との情報共有及び運営協議 ・公民館運営審議会による事業検討協議 ・公民館職員資質向上研修会への参加 ・任期満了に伴う次期公民館長の任命	6・コロナによる影響	指標(単位)	公民館利用者数 (人)					公民館利用者の固定化・高齢化の傾向から、幅広い世代が興味を持つ魅力的な講座やイベントの企画・開催し、利用増加につなげる。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
						目標	124,200	124,400	130,200	136,000	142,000	
						実績	132,013	129,996	126,134	132,009	51,203	
	指標(単位)	公民館利用団体の利用件数 (団体)										
	年度	28年度	29年度	30年度		元年度	2年度(目標年)					
	目標	12,150	12,200	12,250		12,300	12,350					
	実績	12,847	12,212	12,069		11,861	6,778					
	0401-10	生涯学習課	自主講座の開催や貸館業務などの地域活動の拠点施設や市民サービスセンター等の行政サービスの拠点施設として、地域に積極的に活用いただける施設管理を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主講座はほぼ中止となり、実績が昨年を大きく下回った。緊急事態宣言期間中も市民サービスセンターは開設し行政サービスは継続した。貸館業務については人数制限や消毒等感染防止に努めた。								
				予算額		15,853千円						
				決算額		13,869千円						
				執行率		87%						

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度の実施内容		評価	成果・目標指標又は実施内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の実施内容等
61	1312-07	余裕教室 等活用事業	余裕教室等の有効活用を図り、地域住民の学習と交流の場として提供し、開かれた学校づくりを進める。	・活用事業の再確認 ・一般市民の活用のためのPR ・各種講座での活用等の検討		6・コロナによる影響	指標(単位)	余裕教室活用人数 (人)					各学校における一時利用可能教室数が減少しているため、各学校と調整を図り利用可能校を増やしていく。 利用者を増やすために、更なる周知を図っていく。
							年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
							目標	70	75	80	85	90	
							実績	64	69	60	75	51	
	指標(単位)	余裕教室利用率 (%)											
	年度	28年度	29年度	30年度	元年度		2年度 (目標年)						
	目標	6	6	7	7		8						
	実績	5	11	18	23		27						
	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年度よりも利用人数が下がった。広報紙を活用してPRすることにより、余裕教室等の一時利用可能教室を周知し、活用率を上げることができた。												
	0401-11	生涯学習課	各小中学校（全30校）における余裕教室等を、登録許可制により市民団体の活動の場として提供し有効活用する。	予算額	0千円								
決算額				0千円									
執行率				—									

施策2 芸術文化の振興と郷土愛の醸成

【事業】

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
62	1321-01	文化・学 習セン ター芸術 文化振興 事業	市民が優れた文化・芸術に 触れることにより、教養や人 間性を高め、また自ら参加す ることにより創造性の育成を 図る。併せて芸術文化の振興 を図る。	・自主公演事業の企画、開 催 ・クラシックコンサートの 実施 ・市民創造参加型文化・学 習センター協働事業の周知 ・文化・学習センター運営 委員会の開催	6 ・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	4施設延べ利用者数 (人)					小学生とその家族を対象とした クラシックコンサートを実施しな かったため、令和3年度において は、小学生も参加できる機会を提 供する。 市民創造参加型文化・学習セン ター協働事業の支援対象団体、支 援対象事業の見直しを進める。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	255,000	260,000	265,000	270,000	275,000	
						実績	236,717	252,224	247,323	225,259	59,944	
	指標(単位)	文化・学習センター自主公演事業来場 者 (人)										
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度	2年度 (目標年)				
	目標	4,800	4,900			5,000	5,100	5,200				
	実績	4,829	6,519			4,463	3,119	0				
	新型コロナウイルス感染症拡大により、拡大防止策を講 じつつも、自主公演事業を実施できなかったため。											
	予算額	3,929千円										
	決算額	35千円										
	執行率	1%										

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
63	1321-02	地域文化 振興事業	市民が多くの優れた文化・ 芸術に触れることにより教養 を高め、また自ら参加するこ とにより創造性の育成と芸術 文化の振興を図る。	・地域文化祭の開催 ・県展かその実施 ・加須市美術展の開催 ・加須市民音楽祭の開催 ・市内文化団体の活動支援	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) 各地域文化祭の来場者数 (人)	今後は、感染対策を行いつつ、 市民が文化・芸術に直接参加・鑑 賞・発表できる機会を充実させ、 市民文化の高揚を図り、多くの市 民が参加する芸術・文化活動を検 討する。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度 (目標年)	
						目標 20,000 20,100 20,200 20,300 20,400	
						実績 15,600 18,300 19,354 18,600 0	
						指標(単位) 文化祭の参加団体数 (団体)	
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度 (目標年)	
						目標 215 220 225 230 235	
						実績 225 228 237 206 0	
						新型コロナウイルス感染防止のため、「県展かそ」、 「地域文化祭」、「市民音楽祭」、「市美術展」は延期又 は中止となり、実績が昨年を大きく下回った。 市内文化団体の活動支援を行ったが、文化振興に関わる 催しが全て中止となったため予算の執行もなかった。	
						予算額 6,106千円	
64	1321-03	まちかど 美術館推 進事業	芸術に対する市民の関心と 興味を広く創出するため、市 内各地域のまちかどで小学生 等の作品を展示し、その展示 作品に気軽に見て触れ合える ことで「芸術文化に親しむ環 境づくり」の充実を図る。	・まちかど美術館を全地域 で開催 ・出品対象の検討(幼稚園、 中学校、市民)	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) 美術作品展示点数 (点)	会場等を考慮しつつ、新型コロ ナウイルス感染症感染防止対策を 講じた開催方法を検討する。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度 (目標年)	
						目標 972 974 976 978 980	
						実績 936 904 912 871 0	
						指標(単位) 美術作品展示店舗数等 (店)	
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度 (目標年)	
						目標 236 250 250 250 250	
						実績 226 227 228 237 0	
						市内のまちかどに児童等の作品を展示することで、芸術 文化を身近に楽しめる機会を作り、また、商店街のイベン トと併せて実施することで、賑わいを創出する役目がある が、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止となっ た。また、開催が中止となったため予算の執行もなかつ た。	
						予算額 79千円	
64	0402-03	生涯学習 課	市内各小学校等の協力によ り児童の絵画作品を募集し、 商店等に展示する。	・まちかど美術館を全地域 で開催 ・出品対象の検討(幼稚園、 中学校、市民)	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) 美術作品展示店舗数等 (店)	会場等を考慮しつつ、新型コロ ナウイルス感染症感染防止対策を 講じた開催方法を検討する。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度 (目標年)	
						目標 236 250 250 250 250	
						実績 226 227 228 237 0	
						市内のまちかどに児童等の作品を展示することで、芸術 文化を身近に楽しめる機会を作り、また、商店街のイベン トと併せて実施することで、賑わいを創出する役目がある が、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止となっ た。また、開催が中止となったため予算の執行もなかつ た。	
						予算額 79千円	
						決算額 0千円	
						執行率 0%	
						予算額 79千円	
						決算額 0千円	
						執行率 0%	

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
65	1321-04	地区文化祭振興事業	講座、クラブなどの学習及び活動成果を発表、展示することにより地域住民の学習意欲を高め、生涯学習の振興を図る。	・公民館利用者及び公民館講座受講生等による学習及び活動成果の発表、作品展示。 ・文化祭実行委員会補助金交付及び開催支援	6・コロナによる影響	指標(単位)	地区文化祭来場者数 (人)					感染症防止対策を講じた公民館文化祭の手法や会場レイアウト等を模索する。また、公民館文化祭の地域住民以外へのホームページ利用等による情報発信を行う。
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度	2年度(目標年)				
	目標	9,800	9,900			10,600	11,300	12,100				
	実績	10,374	8,936			10,318	10,601	0				
	新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、9公民館において開催を中止した。また、開催が中止となったため予算の執行もなかった。											
66	1323-01	偉人顕彰事業	郷土の偉人を顕彰することによって、郷土愛の醸成と芸術・文化の向上を図る。	・郷土の偉人パネル展の実施 ・斎藤与里作品の修復 ・偉人に関する資料整理 ・偉人顕彰活動の支援	6・コロナによる影響	指標(単位)	偉人パネル展年間開催回数 (回)					斎藤与里をはじめとする郷土の偉人の資料整理等を進め、加須の偉人を市内外に情報の発信を行っていく。
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度	2年度(目標年)				
	目標	8	8			8	8	8				
	実績	9	7			6	7	1				
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの開催が中止になり、それに併せて偉人パネル展も中止となったため、実績が大きく前年を下回った。 新型コロナウイルス感染防止対策を講じて「斎藤与里展」を開催し、加須市の偉人について顕彰活動が行えた。											
0402-05	生涯学習課	偉人を紹介するためのパネル展や現存する資料の整理、展示を行う。 各地域の偉人顕彰団体の活動を支援する。 偉人生没年節目においては記念事業を開催する。	予算額	2,574千円								
	決算額	2,144千円										
	執行率	83%										

施策3 文化財の保存・活用

【事業】

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
67	1322-01	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業	郷土に対する理解や愛着を深めるよう郷土史の学習機会を提供する。	【北川辺郷土資料館】 ・郷土の歴史、考古及び民俗等に関する資料の整理、保存、展示、テーマ（水辺のくらし）に基づいた展示内容の広報・郷土資料館の管理運営 【騎西郷土史料展示室】 ・小学校社会科見学受入れ及び展示解説 ・民俗資料や騎西城跡出土品等の考古資料の展示 ・郷土史料展示室の管理運営	6・コロナによる影響	指標(単位)	北川辺郷土資料館の来館者数（人）					北川辺郷土資料館については、引き続きカードの配布などを行い、加須の水辺のくらしについてPRを行う。 騎西郷土史料展示室については、収蔵資料の一部を騎西支所等で公開し、資料の活用と郷土愛の醸成をはかる。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
						目標	735	740	745	750	755	
						実績	658	554	603	826	139	
	0403-01	生涯学習課	【北川辺郷土資料館】 郷土の歴史、考古及び民俗等に関する資料の保存、展示を行う。その運営のため施設の適正な管理を行う。 【騎西郷土史料展示室】 民俗資料や騎西城跡出土品等の考古資料を展示する。藤まつりや文化祭の時期にあわせて特別公開する。その運営のため施設の適正な管理を行う。	予算額		4,737千円						
				決算額		3,901千円						
				執行率		82%						
				指標(単位)		騎西郷土史料展示室の来館者数（人）						
				年度		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)		
				目標		2,330	2,600	2,615	2,630	2,645		
68	1322-02	加須インターネット博物館管理運営事業	市民が郷土の歴史・文化を知り、郷土への理解を深めるため、インターネット上に博物館を構築し、情報を広く発信する。	・掲載資料調査 ・掲載資料データ作成、情報更新 ・加須インターネット博物館の運営管理	1・目標を達成	指標(単位)	インターネット博物館のアクセス回数（件）					各コーナーバランスをみながら内容の充実を図る。 市内の無形民俗文化財の公開日程などのリアルタイムな情報発信に努める。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
						目標	10,630	10,680	10,730	10,780	10,830	
						実績	10,741	10,613	12,301	13,346	14,557	
	0403-02	生涯学習課	加須インターネット博物館には、原始・古代から現代までの郷土の歴史を網羅した総合博物館や美術館としての機能をもたせる。 指定文化財をはじめとする収蔵資料・郷土の偉人等をインターネットをとおして市内外に情報発信する。	予算額		415千円						
				決算額		415千円						
				執行率		100%						
				適宜、必要に応じたコンテンツの更新やリアルタイムな情報発信を行い、加須市の文化財の普及啓発に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響で無形民俗文化財の実演の多くが中止となり更新件数は減少したが、目標としていたアクセス件数は達成することができた。								

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
69	1322-03	伝統文化 継承支援 事業	市内の特色ある伝統文化を 伝承していくため、地域にお ける伝統文化の継承活動を支 援する。	・無形民俗文化財保存会へ の支援 ・加須市郷土かるたの活用 （第8回加須市郷土かるた 大会 ）※新型コロナウイ ルス感染症拡大防止のため 中止 ・各小学校の新1年生への 郷土かるた配布	1・ 目標を 達成	指標(単位)	伝統文化保存会後継者数 (人)					他市同事例を参考に保存会の活 性化を支援する。
		年度	28年度			29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)			
	0403-03	生涯学習 課	伝統文化を継承する保存団 体への支援を行う。 加須市郷土かるたを活用し 広く市民に伝統文化を啓発す る。			目標	305	306	307	308	309	
						実績	303	315	319	322	318	
						会員数については、後継者育成支援を行い目標を達成す ることができた。伝統文化継承保存会の活動支援により、 伝統文化の継承ができた。						
						予算額	3,175千円					
決算額	2,149千円											
執行率	68%											
70	1322-04	文化財の 保存と活 用による 地域活性 化事業	市内の文化財を保存・活用 することにより、後世へ継承 し、市民の文化財愛護に関す る意識の高揚と地域活性化を 図る。	・開発に伴う埋蔵文化財調 査 ・市内文化財保護、啓発、 調査 ・発掘調査報告書の刊行 ・指定文化財管理者への謝 金支出 ・文化財保護審議会の開催 ・騎西城出土品のプラザき さいでの展示 ・文化財説明板2基設置及 び10基修繕 ・文化財標柱杭3基修繕	1・ 目標を 達成	指標(単位)	文化財回答件数（文化財質問への回答 件数） (件)					今後も、市内外に文化財に関す る情報を提供し、興味関心をもっ てもらうように努める。
		年度	28年度			29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)			
	0403-04	生涯学習 課	市内文化財の調査・保護・ 啓発を行い、市民への文化財 普及活動に努める。 開発に先立つ試掘調査を実 施し、必要に応じ発掘調査を 実施する。 発掘調査報告書を刊行す る。 文化財の理解を深め、文化 財愛護精神を培かう為、文化 財めぐりを実施する。			目標	70	70	70	70	70	
						実績	96	86	96	86	93	
						窓口や電話等における文化財の質問に対して、迅速かつ わかりやすさを心掛け、また、必要な資料を収集し回答し た。						
						予算額	7,011千円					
決算額	4,695千円											
執行率	67%											

施策4 図書館サービスの充実

【事業】

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
71	1313-01	図書館資料整備事業	高度化・多様化する市民ニーズに応え、市民の教育と文化の発展に寄与する。	・図書館資料の計画的な購入・受入・装備 ・県内外の公共図書館との連携 ・郷土資料（行政資料等）の収集・受入 ・図書館資料の適切な除籍	1・目標を達成	指標(単位)	市民1人当たりの蔵書数 (冊)					加須市立図書館全体で蔵書構成や図書館資料の収集を行うとともに、貸出・返却をはじめとする図書館サービスの効果的、効率的な提供方法を検討する。 子どもたちの生涯における読書活動を推進するため、児童書の充実を図る。 需要や利用頻度等を考慮しながら適切な除籍を行う。
	0404-01	図書館課	加須市立図書館資料収集要綱及び収集基準に基づき、新刊案内情報誌、貸出傾向等を参考に、利用者からリクエストのあった図書、基本図書など多様な資料を購入し、地域行政資料も積極的に受入整備することで、蔵書の充実を図り、市民ニーズに対応できる魅力ある図書館づくりを図る。 学校からの要望の高い資料も適宜充実させる。			年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
						目標	—	4.93	5.01	5.09	5.17	
						実績	—	5.06	5.16	5.25	5.28	
						適切で計画的な資料受入・除籍を行い目標を達成した。						
予算額	22,988千円											
決算額	22,453千円											
執行率	98%											
72	1313-02	図書館管理運営事業	市民に資料を提供して、調査研究、及びレクリエーションに資するために、利用しやすい環境を整備する。	・図書館情報システムによる、貸出、返却、予約処理 ・各図書館間の本の回送 ・図書館協議会の開催 ・おおとね図書館の維持管理 ・私の読書全記録の窓口での配布及びweb機能の運用 ・行政情報発信を兼ねた資料展示、所蔵資料の有効活用	6・コロナによる影響	指標(単位)	市民一人当たりの年間貸出冊数 (冊)					マイナンバーカードでの貸出を周知し、利便性の向上を図っていく。 各課の事業と関連した本の企画展示（行政情報PR）の実施や職員を対象とした所蔵資料の有効活用。 行政資料（各部門計画等）を収集し、図書館で調べ事ができるよう、地域の情報拠点として図書館利用者を増やす。
	0404-02	図書館課	図書館を適正に管理運営して図書館サービスの充実に努める。 図書館情報システムを活用した貸出、返却、予約処理、及び返却の督促等を効率的に行う。 時節ごとの展示等を行い、親しみやすい図書館づくりに努める。			年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
						目標	5.58	5.59	5.60	5.61	5.62	
						実績	5.27	5.09	4.99	4.86	2.62	
						新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、休館や臨時窓口のみの貸出期間が長かったため。						
予算額	75,394千円											
決算額	68,331千円											
執行率	91%											

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
73	1313-03	図書館まつり開催事業	図書館やボランティア団体等の活動内容を周知し、利用への関心を高め、図書館利用者の増加と読書普及活動の推進を図る。	・4館の図書館を会場に、ボランティア団体等との協働で、古本市、おはなし会、各種催物等を開催	6・コロナによる影響	指標(単位)	図書館まつり参加者数 (人)					ボランティアとの協働により、催し物の工夫や、新規催し物の企画を実施して参加者数の増加を目指す。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
	目標	3,150	3,200			3,250	3,300	3,350				
	実績	3,543	3,698			3,309	3,455	0				
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止したため。											
0404-03	図書館課	図書館利用への関心を高め、利用者の増加と読書普及活動の推進を図るためのイベント等を実施する。 市民から寄贈を受けた本及び図書館で除籍された雑誌のリサイクル活用を目的とした古本市やボランティアによるおはなし会などを開催する。	予算額	0千円								
			決算額	0千円								
				執行率	—							
74	1313-04	視聴覚ライブラリー事業	図書館や関係機関との連携により、本市における視聴覚教育を振興し、市民の教養や情操の向上を図る。	・視聴覚教育に関する機材教材の貸出を実施	6・コロナによる影響	指標(単位)	視聴覚機材・教材の貸出数 (件)					教材の紹介、関係機関の所管・担当課等に周知を図っていく。 (令和3年度より事業を図書館管理運営事業に統合)
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)	
	目標	100	100			100	100	100				
	実績	110	62			53	13	10				
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、密閉空間での資料活用が難しかったため。											
0404-04	図書館課	市民の自主的な視聴覚教育の活動を支援するために、視聴覚教育に必要な機材及び教材を保育園(所)や小・中学校、市民活動団体等に貸し出しを行う。	予算額	0千円								
			決算額	0千円								
				執行率	—							

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等		
75	1314-02	子ども読書活動推進計画進行管理事業	学校をはじめ、家庭、地域など社会全体が連携・協働のもと、子どもの自主的な読書活動を推進し、読書をととして心豊かな子どもの成長を図る。	・取り組み状況の把握及び検証 ・子ども読書活動推進会議の開催 ・図書館協議会での点検、評価 ・市のホームページで公表	6・コロナによる影響	指標(単位)	目標達成率 〔取組事項のうち達成済みの割合〕 (%)	さらなる目標の達成に向け、関係各課と読書活動の推進を図っていく。また、目標を達成していない取組みについて問題解決を図っていく。	
						年度	28年度		29年度
	目標	100	100			60	70		80
	実績	74.6	60.6			58.5	61.0		52.9
	子ども読書活動推進会議を書面にて開催し、子ども読書活動推進計画の進行管理をチェックすることで、適切な進行管理が図れた。 令和2年度の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、41の具体的取組のうち、24の取組が「コロナによる影響」の評価となり、それを除いた取組のうち、9の取組が目標を達成できたが、評価については、「コロナによる影響」とした。								
0404-05	図書館課	庁内関係課による子ども読書活動推進会議において、事業の進捗状況を確認検証する。また、図書館協議会において、検証結果について意見を求め、事業の推進を図る。	予算額	0千円					
			決算額	0千円					
			執行率	—					
76	1314-03	絵本との親子ふれあい事業	親子が絵本をととしてふれあう時間をもつとともに、親子で本に親しみ、子どもが本の楽しさを知るきっかけをつくることで子どもの読書活動を推進する。	・9～10か月児健診時に職員とボランティアが乳児と保護者に絵本の手渡し ・0～3歳児向け絵本リストの配布 ・4～6歳児向け絵本リストの配布	6・コロナによる影響	指標(単位)	事業の満足度 (%)	ボランティアの不足に備えるため、ボランティア養成講座を適宜行う。 兄弟がいる家庭では既に同じ絵本を持っている家庭もあることから、配布する絵本のタイトルの一部を3年ごとに見直す。 事業や図書館運営に関する満足度について、新しい情報を得るため、アンケート調査を毎年行うこととしたため推進していく。	
						年度	28年度		29年度
	目標	100	—			100	—		100
	実績	99.1	—			99.0	99		—
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、読み聞かせができなかったため満足度調査もできなかった。								
0404-06	図書館課	9～10か月児健診時に乳児とその保護者に絵本と絵本リストをプレゼントし、併せて図書館職員とボランティアによる読み聞かせを行うことによって、親子で絵本に親しむ家庭の割合を高め、乳児の健やかな心の成長を支援する。 希望者には、図書館利用カードを発行するとともに、親子を対象にわらべうた講座を開催する。また、ボランティア育成のため研修会を行う。	予算額	441千円					
			決算額	415千円					
			執行率	94%					

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
77	1314-04	ブック トーク・ おはなし 会開催事 業	子どもが物語や本に親しみ ながら本の楽しさを知り、心 豊かに健やかに成長できるよ う支援する。	・ブックトークの開催 ・学校等への図書の団体貸 出		6・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	ブックトークの年間実施小学校数 (校)					校長会等における、おはなし会 やブックトーク等の学校支援の周 知や、図書館職員が学校を訪問 し、司書教諭等と意見交換をする ことにより、活動の幅を広げる。 ボランティアによるおはなし会 を継続して実施するために、ボラ ンティアの養成に努めるとともに ボランティア活動を積極的に支援 する。
		年度	28年度				29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)			
	0404-07	図書館課	小学校等から依頼を受け、 司書もしくは司書とボラン ティアが出向いて、ストー リーテリング、絵本の読み聞 かせ、ブックトークなどを行 う。 図書館では、ボランティア や職員が参加者の年齢にあわ せ、手遊び、わらべうた、紙 芝居、絵本の読み聞かせ、ス トーリーテリングなどを行う おはなし会を定期的に開催す る。				目標	4	5	6	7	8	
							実績	5	5	5	6	3	
							依頼のあった学校においてはブックトークを実施し、推 進を図ることができたが、新型コロナウイルス感染拡大防 止対策として実施を控える学校もあり、目標達成には至ら なかったため。						
							＊執行率が低かったのは新型コロナウイルス感染拡大防止 対策としてボランティア養成講座の開催ができなかったた め						
		予算額	160千円										
		決算額	31千円										
		執行率	19%										

基本目標5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

施策1 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

【事業】 【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
78	2231-01	スポーツ 推進計画 策定事業	市民がスポーツやレクリエーションを取り入れた豊かなスポーツライフを実現する。	令和元年度に実施した「スポーツ・レクリエーション活動の実態調査（アンケート）」結果をもとに次期計画を策定する。		1・ 目標を達成	これまでの取り組みの成果と課題、本市を取り巻く社会経済状況の変化、国・県の動向などを踏まえるとともに、心身の健全な 発達、明るく豊かな生活の形成、活力あるまちの実現に向け、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和3年2月に「第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」を策定した。						「第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」に従いスポーツ推進計画進行管理事業において進行管理を行う。
79	0501-01	スポーツ 振興課	スポーツ・レクリエーションを通じて市民の健康増進及び体力の維持向上を図るため、スポーツ・レクリエーション推進計画を策定する。	予算額	3,774千円	6・ コロナによる影響	指標(単位)	数値目標の達成率 (%)					第1次計画の成果と課題を検証し、第2次計画を推進する。
				決算額	3,074千円		年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
				執行率	81%		目標	89	80	80	80	80	
							実績	95	83	89	67	67	
						スポーツ推進審議会を開催し、委員がスポーツ推進計画の進行管理をチェックし、意見を聴取することによって適切な進行管理が図れた。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、18事業中15事業が「コロナによる影響」の評価となり、それを除いた3事業のうち2事業については目標を達成できたが、評価については「コロナによる影響」とした。							

基本目標5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
80	2231-03	スポーツ 教室等開 催事業	健康の保持増進や体力の維持向上を目指し、スポーツを通して仲間との交流を図るとともに、生きがいづくりや交流により人と人との絆を深める。	市民のスポーツへの関心を高めるためスポーツ教室を開催 ・ピラティス ・カヌー&ヨット教室 ・体験型ニュースポーツ教室 (フロアカーリング・ディスコン)	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) スポーツ教室参加人数 (人) 年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年) 目標 820 840 860 880 900 実績 741 677 626 509 126 新型コロナウイルス感染症対策により、予定していた8教室が中止となった。開催した6教室については、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで行ったが、目標値には達しなかった。	コロナ禍での教室のあり方を検討する。 また、教室の種類、募集方法、時期なども検討し、引き続き、市民が参加しやすい教室を開催することにより市民のスポーツの関心を高める。
	0501-03	スポーツ 振興課	市民のスポーツへの関心を高めるため、スポーツ教室を開催する。 ・ヨガピラティス教室 ・小学生水泳教室 ・ストレッチ教室 ・小学生スキー教室 ・ヨット・カヌー教室 ・体験型ニュースポーツ教室 ・小学生硬式テニス教室	・親子硬式テニス教室 ・クライミング教室 ・Jrクライミング教室 その他予定していた8教室はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。 予算額 1,196千円 決算額 223千円 執行率 19%			
81	2231-04	スポーツ 普及推進 事業	市民の健康の保持増進や体力の維持向上を図るとともに、生きがいづくりや交流により人と人との絆を深める。	・スポーツ等会員数 【スポ協4,281人・レク協648人・スポ少559人】 ・スポーツ推進委員協議会との協働によるスポーツ普及事業の開催	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) スポーツ協会等会員数 (人) 年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年) 目標 6,500 6,600 6,700 6,800 6,900 実績 6,160 5,655 5,681 5,824 5,488 スポーツ協会等の会員数は、スポーツ協会に加盟していた1競技団体が退会したため。また、新型コロナウイルスの影響から活動自粛等により、退会者が多く、前年よりも減少し、目標に達していない状況である。 コロナ禍により各団体は、練習や大会が予定どおり開催できなかった。	コロナ禍でのスポーツの実施方法を検討し、多くの市民がスポーツに親しむことができるよう引き続き各団体の支援及び加盟団体の充実を促進し、市民のスポーツ活動を推進する。
	0501-04	スポーツ 振興課	スポーツ推進委員協議会の運営や体育協会他各団体との協働により、スポーツ普及事業の展開を図る。 スポーツ団体等への補助金の交付及び支援を行う。 スポーツ活動を支援するため加須はなさき公園多目的グラウンド利用団体の支援を行う。	・スポーツ団体への活動支援 ・スポーツ特別功労賞表彰の実施 予算額 22,725千円 決算額 14,148千円 執行率 62%			

基本目標5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
82	2231-05	グラウンドゴルフ推進事業	市民の健康の保持増進や体力の維持向上を図るとともに、生きがいづくりや交流により人と人との絆を深める。	グラウンド・ゴルフの推進により健康と仲間同士の親睦・交流を深める。 競技人口の内訳 ・スポーツ協会所属 525人 ・以外 382人 ・レク協所属 312人 新型コロナウイルス感染症の対策により多くの大会が中止になった	6・コロナによる影響	指標(単位)	グラウンドゴルフ競技人口数 (人)					コロナ禍に対応したグラウンド・ゴルフの普及・推進を行う。
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度	2年度 (目標年)				
	目標	1,200	1,300			1,400	1,500	1,600				
	実績	1,388	1,351			1,306	1,285	1,219				
	加須市スポーツ協会及び加須市レクリエーション協会に加盟している人は、減少傾向にあるが、これらの団体に属さず自治会等の仲間で競技を行っている方が多数いる。 また、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、競技人口は減少傾向にある。											
0501-05	スポーツ振興課	グラウンド・ゴルフ協会等と連携し、市民等の愛好者が交流を図れる大会を支援する。 ・さわやかグラウンド・ゴルフ大会（実行委員会への補助金交付） ・加須市長杯 ・宮崎義重杯 ・ふじの里グラウンド・ゴルフ大会 ・加須市老人クラブ連合会GG大会 ・市民グラウンド・ゴルフ大会	予算額	305千円								
			決算額	0千円								
			執行率	0%								
83	2231-06	市民体育祭支援事業	身近なスポーツを通じて地域住民が交流し絆を深め、健康で活気ある地域づくりを図る。	各地域体育祭 ・加須地域 10.11 (日) ・騎西地域 10.18 (日) ・北川辺地域 10.11 (日) ・大利根地域 10.18 (日) 全地域とも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	6・コロナによる影響	指標(単位)	地域体育祭参加者数 (人)					多くの市民の参加を促進するとともに、スポーツの推進と地域交流や親睦を図るため、コロナ禍に対応した地域体育祭を支援する。
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度	2年度 (目標年)				
	目標	6,800	6,900			7,000	7,000	7,100				
	実績	4,800	3,500			6,850	2,950	0				
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止としたため											
0501-06	スポーツ振興課	4地域で開催される体育祭を支援する。 ・地域体育協会との協働により実施	予算額	21,209千円								
			決算額	0千円								
			執行率	0%								

基本目標5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
84	2231-07	健康づくりウォーキング事業	市民の健康の保持増進や体力の維持向上を図るとともに、生きがいづくりや交流による人と人との絆を深める。	【新型コロナウイルス感染拡大防止対策で中止した事業】 ウォーキング大会の開催 ・健康づくりウォーク(市・教育委員会主催) ・童謡のふる里菜の花ウォーク(大根根地域スポ協主催) ・ふじの里ウォーク(騎西地域スポ協主催) ・各地区スポーツ協会主催の歩け歩け大会 【開催した事業】 ・各地域スポーツ協会主催事業「目指せ健康! コロナに負けるな!!」を4地域で開催。	6・コロナによる影響	指標(単位) ウォーキング大会開催数 (回)	より多くの市民に参加していただけるよう様々な工夫を凝らしたウォーキング大会の開催を検討するとともにコロナ禍で対応でき、ひとりでも行うことのできるウォーキング事業の開催についても検討していく。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)	
						目標 14 16 13 13 14	
						実績 12 13 12 10 4	
85	0501-07	スポーツ振興課	市民がウォーキングに取り組むためのきっかけづくりとして「ウォーキング大会」の各地区での開催を促進する。 スポーツ推進委員会を中心に「健康づくりウォーキング」を開催する。	予算額 96千円 決算額 0千円 執行率 0%	6・コロナによる影響	コロナウイルス感染拡大防止のため、地域スポーツ協会及び各地区スポーツ協会主催のウォーキング大会はすべて中止となったため。 各地域スポーツ協会では、それらにかわる事業としてひとりでもできるウォーキング事業(「コロナに負けるな!!」)を実施し、各人がウォーキング距離や歩数の目標を達成していただいた。	
85	2232-01	クライミング普及事業	クライミングを通じ、加須市の知名度アップや地域の活性化、全国から若者が集うまちをつくる。	【新型コロナウイルス感染拡大防止対策で中止した事業】 ・全国高等学校選抜クライミング選手権大会 ・加須市ボルダリング大会 ・親子スポーツクライミング体験会 【開催した事業】(回数や人数の制限) ・リードKAZOクライミングカップ ・スポーツクライミング教室 ・クライミングウォール利用認定会、体験会 クライミング利用者 加須市民体育館 3,860人 南篠崎体育館 10人	6・コロナによる影響	指標(単位) クライミング施設年間利用者数 (人)	スポーツクライミングへの関心が高まっているため、感染対策を徹底したうえでより多くの人々がクライミングに触れることができるよう引き続き加須市山岳連盟等と協働して事業を行う。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)	
						目標 9,600 9,700 9,800 9,900 10,000	
						実績 14,327 12,397 10,637 10,423 3,870	
85	0501-08	スポーツ振興課	KAZOカップ、体験会、認定会等を埼玉県山岳連盟及び加須市山岳連盟と連携して開催する。 日本山岳・スポーツクライミング協会主催の全国高等学校選抜クライミング選手権大会の支援を行う。	予算額 3,343千円 決算額 2,088千円 執行率 62%	6・コロナによる影響	新型コロナウイルス感染症対策により、休館や時間短縮、リードKAZOクライミングカップを参加人数縮小、全国高等学校選抜クライミング大会などの中止により大幅に減少した。	

基本目標5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
86	2232-02	こいのぼりマラソン大会開催事業	市民の健康増進や体力向上を図るとともに、健康で生きがいのある暮らしづくりに寄与するとともに、市のイメージアップを図る。	■加須こいのぼりマラソン大会 開催日：R2.12.6(日) 場 所：加須市民運動公園ほか 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	6・コロナによる影響	指標(単位) 加須こいのぼりマラソン大会参加者数 (人)	コロナ禍に対応したマラソン大会のあり方などを検討し、引き続き全国から参加してもらえる大会にする。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)	
						目標 6,400 6,500 6,500 6,500 6,500	
						実績 6,598 6,683 6,265 5,937 0	
87	2232-03	加須ふじの里駅伝大会支援事業	市民の健康増進や体力向上、生きがいづくり、人と人との交流を図り、絆を深めるとともに、市のイメージアップを図る。	■加須ふじの里駅伝大会 開催日：R3.3.14(日) 場 所：騎西総合公園ほか 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	6・コロナによる影響	指標(単位) 加須ふじの里駅伝大会参加チーム数 (チーム)	コロナ禍に対応した駅伝大会のあり方などを検討し、引き続き多くの人に参加してもらえる大会にする。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)	
						目標 250 250 250 250 250	
						実績 263 325 287 278 0	
88	2233-01	総合型地域スポーツクラブ育成事業	多世代にわたる多くの市民が地域で多様なスポーツを自由な時間に楽しめる生涯スポーツの振興を図る。	・クラブ設立と自主的運営の支援 ・平成国際大学が新たなクラブの設立に向け、検討を進めているが、コロナ禍により進捗が遅れている。	6・コロナによる影響	指標(単位) 総合型地域スポーツクラブ会員数 (人)	平成国際大学を利用したスポーツクラブ設立に向け、平成国際大学教授や関係団体などと検討を重ね、早急に総合型地域スポーツクラブの設立準備委員会の設置を促進する。
						年度 28年度 29年度 30年度 元年度 2年度(目標年)	
						目標 550 600 650 700 750	
						実績 533 589 637 530 450	
88	0501-11	スポーツ振興課	既存のクラブに対して、指導員の確保、新たな種目の増設、会員増などに向け支援する。 新たなクラブの設立に向けて、説明会や研修会を開催する。	<活動しているクラブ> ・FC KAZO 450人	6・コロナによる影響	新型コロナウイルス感染症により令和2年度は大幅に会員数が減った。 平成国際大学が新たなクラブの設立に向けて進めているが、コロナ禍により進捗が遅れているため。	
						予算額 22千円	
						決算額 0千円	
						執行率 0%	

施策2 スポーツ・レクリエーションに親しむことができる環境づくり

【事業】

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
89	2234-01	スポーツ 施設整備 事業	安全で快適にスポーツが できるプレー環境を実現する。	施設の老朽化に伴い順次回収を 行い、安全・安心な施設運営に 努める。	1・ 目標を 達成	指標(単位)	年度計画に対する整備率 (%)					利用者が安心して安全に利用で けるように常に点検等を行い、必 要な修繕等を行う。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	35	40	45	50	55	
						実績	36	40	44	54	62	
	0502-01	スポーツ 振興課	市内のスポーツ施設の修 繕・改修を実施する。	予算額	0千円	改修・修繕計画を検討したうえで、安全管理上必要なも のから適時実施し、施設の整備・充実を図った。						
				決算額	0千円							
				執行率	—							
90	2234-02	スポーツ 施設管理 運営事業	安全で快適にスポーツがで きるプレー環境を実現する。	・4地域5館の公共体育館と運 動公園等の屋外体育施設の管理、 貸出 ・安全点検と故障箇所の修繕 ・加須市民体育館柔道場畳改修 ・騎西総合体育館給水ポンプユ ニット交換 他 ※検温や利用者名簿の提出、ス ポーツ時以外のマスク着用の徹 底、手指消毒の徹底など新型コ ロナウイルス感染症対策を行っ た。	6・コ ロナに よる影 響	指標(単位)	体育館、運動公園施設の年間利用者数 (人)					新型コロナウイルス感染症対策 を徹底するとともに、老朽化して いる施設備品が多いため、交換や 修繕などにより安心して利用でき るよう努める。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	628,000	628,500	629,000	629,500	630,000	
						実績	673,045	662,134	665,211	603,675	292,698	
	0502-02	スポーツ 振興課	市内公共体育施設の適正な 運営と維持管理を行う。 ・体育館5館 ・都市公園施設16ヶ所、30 施設	予算額	145,992千円	新型コロナウイルス感染症対策として、施設の休館や利 用時間の短縮、人数制限によって利用者数が減少したため 目標値を下回った。						
				決算額	116,851千円							
				執行率	80%							

基本目標5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
91	2234-03	学校体育 施設開放 管理運営 事業	地域のスポーツレクリエーションの場を確保し、生涯スポーツの振興を図る。	・市内小中学校の学校体育施設の開放 ・市内学校開放施設・設備の維持管理 ・不動岡小学校校庭夜間照明制御盤修繕 ・水深小学校バックネット撤去・設置工事 ・礼羽小学校夜間照明電源ケーブル修繕 ・樋遣川小学校外トイレ鍵修繕	6・コロナによる影響	指標(単位)	学校体育施設年間利用者数 (人)					利用団体への新型コロナウイルス対策をさらに徹底する。 また、老朽化した備品等について安全に利用できるよう順次更新等行う。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
						目標	212,000	212,500	213,000	213,500	214,000	
						実績	195,560	189,365	181,023	179,709	78,594	
						指標(単位)	学校体育施設開放利用者団体登録数 (団体)					
	年度	28年度	29年度	30年度		元年度	2年度 (目標年)					
	目標	275	280	285		290	295					
	実績	233	236	224		222	195					
	新型コロナウイルス感染症対策により利用中止、時間短縮など行ったため利用者が大幅に減ったため											
	0502-03	スポーツ 振興課	学校教育に支障のない範囲でスポーツを楽しむ団体等へ学校体育施設の貸出を行ないスポーツ活動を促進する。	予算額		5,811千円						
決算額				4,383千円								
執行率				75%								
92	2234-04	スポーツ 施設安全 点検事業	一般利用者が安心・安全に利用できるプレー環境の実現を図る。	・日常的な見回り点検を毎朝実施。 ・月1回程度の安全点検の実施。	1・目標を達成	指標(単位)	不具合による事故発生件数 (件)					利用者が安心して安全に施設を利用できるように、日々の安全点検を実施する。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
	0502-04	スポーツ 振興課	安全な施設、最適な運動施設環境をつくるため、体育館内、野球場、テニスコート、駐車場、各広場、プール及び鎮守前公園等を巡回し、施設・設備・用具等安全点検を行い、施設管理者に報告する。	目標		0	0	0	0	0		
				実績		0	0	0	0	0		
				日々の点検により利用者が安心して安全に施設を利用できた。								
				予算額		0千円						
				決算額		0千円						
執行率				—								

施策3 スポーツを活用した地域活性化の推進

【事業】

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
93	2232-04	全国大会 等支援事業	加須市の知名度アップや地域の活性化を図り、全国から若者が集うまちをつくる。	【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業】 ・彩の国トライアスロンイン加須大会 ・全日本学生選手権チームロードタイムトライアル自転車競技大会 【開催した事業】 ・全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル大会95人 ・加須タイム・トライアル・ロードレース大会163人 ・トライアスロンデュアスロン大会379人 大会開催地として市長杯カップや賞状、メダル、記念品贈呈 予算額 103千円 決算額 0千円 執行率 0%	6・コロナによる影響	指標(単位)	大会開催数 (回)					感染対策を行ったうえで開催できる大会について引き続き誘致開催に努める。
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度	2年度 (目標年)				
	目標	5	5			5	5	5				
	実績	5	5			5	4	3				
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020彩の国トライアスロンイン加須大会、全日本学生選手権チームロードタイムトライアル自転車競技大会が中止となったため。											
	0503-01	スポーツ 振興課	トライアスロンや自転車競技等の全国レベルの大会等に共催及び後援し、さらに主催団体、市民との協働により実施することで、若者が集い競う場をつくり、加須市のイメージアップ、大会のPR及び競技の普及推進を図る。 東京オリンピックに向け、事前キャンプ誘致等を行う。									
94	2232-06	女子硬式 野球振興事業	加須市の知名度アップや地域の活性化を図り、全国から若者が集うまちをつくる。	・全国女子硬式野球ユース大会（後援）は新型コロナウイルス感染症対策拡大のため中止。 ・全国高等学校女子硬式野球選抜大会（共催）は、新型コロナウイルス対策により無観客で開催。 予算額 1,143千円 決算額 709千円 執行率 62%	6・コロナによる影響	指標(単位)	女子硬式野球観客数 (人)					引き続き、女子硬式野球大会を関係団体と協力し、感染対策を行ったうえで開催し、地域の活性を図る。
	年度	28年度	29年度			30年度	元年度	2年度 (目標年)				
	目標	6,000	7,000			8,000	9,000	10,000				
	実績	8,000	12,290			11,800	4,308	0				
	新型コロナウイルス感染症拡大のため8月のユース大会は中止し、選抜大会は無観客としたため。											
	0503-02	スポーツ 振興課	全国女子硬式野球ユース大会、全国高等学校女子硬式野球選抜大会等の全国レベルの大会等に共催及び後援する。 主催団体、市民との協働により実施することで、加須市のイメージアップ、大会のPR及び競技の普及推進を図る。									

基本目標5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

【評価】は5段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
95	2232-07	オリン ピック・ パラリン ピック関 連事業	2020東京オリンピック・ パラリンピックの開催をきっ かけに国際交流を進化させ観 光振興や地域の活性化を図 る。	・ボクシング・柔道・陸上競 技・サッカー・レスリング・ボ クシングチームの受入れの準備 はしていたが、事前キャンプ等 はなかった。 ・受入れ期間中のイベントへの 参加や学校訪問などによる市民 との交流の準備	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	コロンビアと小中学校児童生徒との交 流回数(回)					新型コロナウイルス感染症対策 として、各学校やスポーツ協会等 で作成したビデオメッセージなど を通して選手との交流を行うなど の方策を検討する。
						年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
	目標	—	—			4	10	10				
	実績	—	—			10	17	0				
	新型コロナウイルス感染症の影響によって、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の延期に伴い、コロンビア共和国の事前トレーニングキャンプも1年延期となった。また、感染症対策により市内小中学校の交流事業が中止となった。 (予算執行率が0～20%の理由) 新型コロナウイルス感染症の影響によって、東京2020オリンピック・パラリンピック大会が1年延期されたことによる。											
0503-04	スポーツ 振興課	コロンビア選手の事前ト レーニングキャンプ受入(ボ クシング・柔道・陸上競技・ サッカー・レスリング・ボク シング)										
			予算額	43,111千円								
			決算額	908千円								
		執行率	2.1%									

その他の教育事業

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度の取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
96	1211-01	教育委員会運営事業	社会や地域の教育課題に柔軟かつ的確に対応し、かつ市民に開かれた教育委員会を運営するため、教育委員会の充実を図る。	・教育委員会定例会 ・総合教育会議 ・教育長、教育委員の学校訪問 ・埼玉県市町村教育委員会連合会総会参加 ・北埼玉地区教育委員会連合会総会・研修会参加 ・教育に関する事務事業の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書作成、公表 ・議決簿、会議録及び教育委員会交際費をHPで公表	2・概ね達成	指標(単位)	教育委員が訪問した教育関連施設数 (校・園)					引き続き教育委員会事務局の適正な管理運営を行う。 総合教育会議を開催し、引き続き、市長と教育委員会との連携を図る。 令和3年度の教育委員の施設訪問は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しながら、訪問先や訪問方法などを工夫して実施する。
		年度	28年度			29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)			
		目標	22			21	22	21	22			
		実績	22			21	22	29	6			
		教育委員会定例会を12回開催し、教育委員会の権限に属する事務について協議や審議を行うとともに、議決簿及び会議録をHPで公表した。 総合教育会議を2回開催し、市長と教育委員会との連携を図った。 昨年度に引き続き、教育委員会交際費をHPで公表した。 教育委員の施設等訪問については、令和2年度はコロナ禍により規模を縮小しての実施となったため目標数には達しなかったが、感染対策を取りながら、小学校2校、幼稚園1園、スポーツ施設1施設、その他施設2か所を訪問し、その結果、教育委員の見識を深めることができ、会議での議論の活発化にもつながったため、「概ね達成」とした。										
			予算額	4,110千円								
			決算額	3,327千円								
			執行率	81%								
97	1211-02	教育委員会事務局管理事業	社会や地域の教育課題に柔軟かつ的確に対応し、かつ市民に開かれた教育委員会を運営するため、教育委員会事務局の適正な管理運営を行う。	・教育委員会事務局の管理運営に係る諸経費の執行 ・「加須市の教育」刊行 ・教育功労者表彰式実施 ・各種教育長会議等の負担金等の支払い	1・目標を達成	指標(単位)	「加須市の教育」発行部数 (部)					引き続き教育委員会事務局の適正な管理運営を行う。 「加須の教育」については、内容を更新するとともに、よりわかりやすいものとなるよう見直しを行っていく。 教育功労者表彰について、推薦基準に基づき適正に実施する。
		年度	28年度			29年度	30年度	元年度	2年度(目標年)			
		目標	180			180	180	160	160			
		実績	180			180	180	160	160			
		教育委員会事務局の管理運営に係る諸経費を節減に努めながら適切に執行した。 「加須市の教育」について、目標部数の160部を発行し、関係機関等に配布するとともに、HPで公表した。 教育功労者表彰について、推薦基準に基づき31人を表彰した。(表彰式は新型コロナウイルス感染症対策のため中止)										
			予算額	1,366千円								
			決算額	748千円								
			執行率	55%								

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	2年度 of 取組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
98	1211-21	加須市人 づくりプ ラン進行 管理事業	「加須市人づくり宣言～教育大綱～」の基本理念である 家族・地域の絆を大切に、生 きる力を醸成し、三つの目指 すべき市民の姿を実現させ る。	・「加須市人づくりプラ ン」の周知 ・各事業の実績把握と教育 総合会議への報告		6・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	目標達成率 〔「概ね達成」「目標を達成」の事業 数÷全事業数×100〕 (%)					令和3年度から令和7年度を計 画期間とする第2次加須市人づく りプランの進行管理を毎年度行っ ていく。
							年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (目標年)	
							目標	－	85	90	95	100	
							実績	－	78.5	81.8	84.8	96.5	
							令和2年度については、154事業のうち68事業 (44.8%)が新型コロナウイルスにより事業実施に大き な影響を受けたため、事業の評価は「コロナによる影響」 とした。 コロナの影響が大きかった68事業を除いた86事業の評 価では、83事業(96.5%)が「目標を達成」または「概 ね達成」との評価であった。						
	－	教育総務 課	「加須市人づくりプラン」の 施策を的確に実施するよう、 進行管理を行う。	予算額	0千円								
決算額	0千円												
執行率	－												

6 令和元年度評価を踏まえた取組状況等

令和元年度の教育委員会点検・評価で元加須市教育委員の仲山利樹氏及び加藤久佳氏の2名の学識経験者からいただいたご意見に対する取組状況等をまとめました。

基本目標1 確かな学力と学ぶ力を育成します

施策1 一人一人を伸ばす教育の推進

0101-01	少人数学級推進事業	学校教育部学校教育課
「指導の充実」等について「指標」を設けて、できれば数値化し、実績を評価できないものでしょうか。評価の理由がより明確に理解できます。非常勤講師等の配置の有無による指導等の違いが比較できるとより一層良いと思います。【仲山】		
加須でも少人数の学級があります。大人数の活動を実施する事業を行ってほしい。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	教育活動補助員におきましては、1学級の児童生徒数が多い学年に配置し、個に応じた指導による学力向上と心の教育の充実を図っております。実績評価を数値化することは難しいですが、配置校においては、個別支援により、自尊感情が高まったり、学級全体の学習に対する集中力が高まったりする等の効果が出ている状況です。今後は、チームティーチングを進めるなど、教育活動補助員が配置されていることによるよさを生かした教育活動が行えるよう、工夫を進めたいと考えます。 現在、新型コロナウイルス感染症対策として、大人数が集まる活動を控えております。しかし、活動の目的や内容によっては、大人数の活動により教育的効果が高まるものも考えられます。行事等、様々な活動を検討しながら、各学校・市において適切に実施して行きたいと考えます。	

0101-02	学力アップ事業	学校教育部学校教育課
「指標」に示された「割合」について、非常勤講師等の配置前との比較ができると、配置の成果が明確になると思います。【仲山】		
家庭環境で学力の差が出ています。基礎学力の低い児童・生徒をサポートする必要があります。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	配置前と配置後の割合が比較できる資料の作成を検討してまいります。 「ひとり学びノート」「こいのぼり問題集」などの活用し、基礎学力の定着を目指します。中学生には、加須まなびTime等の積極的な参加を促し、市としても学習の場を提供してまいります。	

0101-05	河野博士育英事業	学校教育部学校教育課
奨学生の高校卒業後進路の追跡調査も必要ではないでしょうか。【加藤】		
令和２年度の取組状況等	奨学生の卒業後の進路調査について検討してまいります。	

施策４ 特別支援教育の推進

0104-01	特別支援教育推進事業	学校教育部学校教育課
事業の目的、取組内容、決算額等を考えると、示された「指標」だけで「大幅に遅れている」の評価は残念です。決算額等に見合う「指標」に変更されてはいかがでしょうか。【仲山】		
加須市では、ほぼ小中学校には特別支援学級があります。しかし、特別支援学級の児童・生徒が一人で最適な教育ができるか。チームを作り学級運営をする方が良いのではないのでしょうか。学区外の通学であれば市がバスなどでサポートするべきではないのでしょうか。【加藤】		
令和２年度の取組状況等	令和２年度は新型コロナウイルスの感染防止に係る臨時休業のために、例年４・５月に行うべき指導が実施できず、終了者の指標を達成できなかったため「大幅に遅れている」の評価となっています。各年度ごとに終了者１００％を目指して指導を続けて参りますが、指標の内容については検討して参ります。 特別支援学級に在籍している児童生徒については、一人一人の個性に合わせて、通常学級での授業や学級・学年・学校行事等への参加を適宜促し、多様な集団への所属意識を高めて参ります。その際には、障がい児介助員をキーパーソンに、担任相互の連携を深めるように指導助言に努めます。	

施策５ 教職員の資質能力の向上

0105-01	学校訪問指導事業	学校教育部学校教育課
学校訪問による「指導」が授業改善に結び付いていることが分かる「指標」を設けることができると良いと思います。【仲山】		
令和２年度の取組状況等	学校訪問による指導が授業改善に結び付き、児童生徒の学力向上につなげることが目的であることを踏まえ、現在の指標のままで学校訪問事業の充実に努めてまいります。	

施策6 社会の変化に対応する教育の推進

0106-01	学校ICT教育活用事業	学校教育部学校教育課
教員が実際にICTを活用した授業の実践に関する「指標」にはいかがでしょうか。事業の目的により合致していると思います。 【仲山】		
GIGAスクールに向けて、先生方の研修を充実して、端末を活用し、学力向上を望みます。【加藤】		
令和2年度 の取組状況等	令和2年度には、端末の導入に向け、教職員対象の研修会を3回、オンラインでの情報共有や意見交換等を2回実施しました。 授業における活用状況調査を実施し、指標の設定について検討してまいります。	

0106-02	サイエンススクール事業	学校教育部学校教育課
加須市ならではの事業です。市内全児童が年一回はプラネタリウムを活用できると良いと思います。【仲山】		
令和元年度 の取組状況等	新型コロナウイルス感染症防止の観点から、現状では実施が難しいと考えておりますが、加須未来館の素晴らしい施設を活用し、今後も事業を継続していく予定です。	

0106-06	防災教育推進事業	学校教育部学校教育課
平日の昼間に発生した災害は、地域に大人がいるとは限らない。中学生ができる防災指導を望みます。【加藤】		
令和2年度 の取組状況等	令和2年度末に各校に配布した「加須市防災ノート（中学生用）」には、災害発生時に自分たちにできることを考えさせる内容を取り入れております。各校での指導の中で、自分には何ができるかを考えさせる場面を取り入れるよう働きかけてまいります。	

施策 9 安全で快適な教育環境の整備・充実

0109-01	小学校施設整備事業	生涯学習部教育総務課
0109-02	中学校施設整備事業	生涯学習部教育総務課
ここ数年で、小中学校エアコン設置・GIGAスクールなどで教育事業費が増えていますが、学校校舎の改善は必要です。本格的に学校の統廃合が必要ではないでしょうか。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	第2次人づくりプランにおいて、施策の一つとして「市立学校の適正な配置」を位置づけました。今後、老朽化した学校施設の計画的な大規模改修を行いながら、施設の複合化や市立小中学校、幼稚園の適正規模・適正配置について、検討を進めていきます。	

0109-04	幼稚園及び小中学校空調設備整備事業	生涯学習部教育総務課
快適な学習環境がついに整いました。児童生徒の今まで以上の頑張りに期待しています。【仲山】		
令和2年度の取組状況等	引き続き、快適な学習環境を確保できるよう施設の維持管理に努めます。	

基本目標 2 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進します

施策 2 いじめ・不登校の根絶

0202-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育部学校教育課
GIGAスクールでの端末を有効に活用して、不登校の児童・生徒にオンラインホームルームやオンライン授業などで登校前訓練をして普通に登校できるサポートができれば良いと思います。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	児童生徒本人や家庭の通信環境などの状況を確認した上で、オンラインでの対応が可能であると判断した場合には、児童生徒と各校の実態に応じて端末を有効に活用できるようにすすめて参ります。	

0202-02	教育センター運営事業	学校教育部学校教育課
更に力をつけたいと考えている教員、力をつけなければならない教員のために、ますます充実した研修会の企画をお願いします。【仲山】		
令和2年度の取組状況等	今後も教員のニーズを踏まえ、新しい教育課題に関わる研修と共に、教育の基礎となる学級経営や人権教育の研修も企画して参ります。	

施策3 食育の推進

0203-01	給食センター管理運営事業	学校教育部学校給食課
安全安心でおいしい給食のPRをもっとしてはいかがでしょうか。献立を文字ではなく画像で紹介する（毎日更新）と市民も喜びます。試食会もまた企画されてはいかがでしょうか。【仲山】		
安全・安心な材料、衛生管理を万全にし、100%安全・安心な給食を提供してください。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	給食のPRとして、毎日の給食写真をHPに掲載しました。 試食会は、給食センターで年2回、給食食堂として、本庁舎ギャラリーで年1回開催しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止となってしまいましたが、イベント等が再開できたときには、企画したいと思います。 地場産野菜を積極的に活用しながら、子どもたちに栄養バランスに配慮した安全安心な給食を提供しました。また、衛生管理を徹底し、事故等もなく、給食が提供できました。	

0203-02	給食費収納対策事業	学校教育部学校給食課
素晴らしい収納率です。引き続きご尽力ください。【仲山】		
給食費を徴収するのは必要だが、先生方が徴収作業する事はあるのでしょうか。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	過去に直接収納を実施し、未納率が上がってしまい、給食費収納率の維持向上、未納対策に課題が出てしまいました。 学校徴収の場合、保護者と担任等とが直接話ができ、きめ細かな収納管理ができることから、学校に協力をお願いします。 引き続き、学校と連携し、しっかりと収納対策をしていきます。	

施策5 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

0205-01	学校いきいきステーション事業	学校教育部学校教育課
学校応援団の方の高齢化進んでいます。新規の応援団を増やす事をするべきではないでしょうか。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	例年担っていただいている方への継続的なお願いに加え、新規の登録のお願いを年度当初に各幼稚園、小・中学校から発信する工夫に努めます。加えて、年度途中にも、継続的に募集を行うようにします。	

0205-02	地域密着型教育広報事業	学校教育部学校教育課
トップページに違いがありますが、各学校のホームページ、とてもよく更新、整備されています。トップページには、最新の記事等があると良いです。毎日の給食の献立なども載せてはいかがでしょうか。保護者等の閲覧数も増えると思います。【仲山】		
令和2年度の取組状況等	給食の献立につきましては、各給食センター（市内3カ所）の献立と写真をホームページに掲載しておりますが、今後も地域への新鮮な情報提供に努めてまいります。	

0205-03	あいさつふれあい推進事業	学校教育部学校教育課
市役所からのお知らせ（防災無線）の冒頭に、「あいさつ さわやか かぞのまち」を挿入してはいかがでしょうか。【仲山】		
令和2年度の取組状況等	防災無線の管轄である危機管理防災課との検討を行って参ります。	

施策6 青少年の健全育成の推進

0206-01	成人式開催事業	生涯学習部生涯学習課
令和2年度からパストラルかぞ、1会場で行われます。人数が増えるので、式前には周辺で渋滞が予測されるので誘導などスムーズに対応して式に遅れない人を出さないでほしい。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、1会場から4会場屋外での分散開催に変更となりました。成人式実行委員会と協働し、感染症対策及び交通誘導を行い、無事式典は終了しました。 会場が1つになってもこれまでと変わることなく、参加する新成人にとって良い思い出として記憶に残る成人式となるよう、成人式実行委員と協働し、式典の運営に努めてまいります。	

基本目標 4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

施策 1 生涯学習活動の促進

0401-01	生涯学習推進計画策定事業	生涯学習部生涯学習課
回答者の選定に一工夫され、もう少し回答率のあがる調査にはいかがでしょうか。【仲山】		
令和 2 年度 の取組状況等	「加須市の生涯学習活動に関する調査」は、生涯学習の現状や課題を把握するため、対象者を層化無作為に抽出し、幅広い意見をいただくことで、次期生涯学習推進計画の基礎資料としております。 アンケートの回答率につきましては、引き続き回答率が上昇するよう次期調査（令和 6 年度）に向け検討してまいります。	

0401-06	文化・学習センター管理運営事業	生涯学習部文化・学習センター
バリアフリーなど施設修繕を行っているので、利用者数が増えてほしいです。【加藤】		
令和 2 年度 の取組状況等	利用者数が増えるような環境づくりに努めてまいります。	

施策 2 芸術文化の振興と郷土愛の醸成

0402-03	まちかど美術館推進事業	生涯学習部生涯学習課
出展者が店舗に展示物を持って行く数が減っています。もうこの事業は終了しても良いのではないのでしょうか。【加藤】		
令和 2 年度 の取組状況等	まちかど美術館実施にあたっては、市内各小学校及び店舗の協力で、子供たちをはじめとした芸術文化に親しむ環境づくりを図っております。事業の継続については、新型コロナウイルス感染防止対策を講じつつ、学校・店舗の負担や事情を考慮し、検討してまいります。	

施策3 文化財の保存・活用

0403-01	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業	生涯学習部生涯学習課
騎西資料館のバックヤードには貴重な出土品が多くあります。新たに展示館を作る必要はありませんが、貴重な出土品を展示する必要があります。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	令和元年度よりプラザきさいの北側玄関ロビーにて、文化財資料を展示し、広く市民の目に触れる機会を設けています。令和2年度は、郷土史料展示室（騎西城）に収蔵しております騎西城跡からの出土品を、11月17日から12月10日まで、「発掘された出土品展～旧石器から奈良・平安時代～」として展示しました。 これからも、貴重な資料を活用し文化財の普及啓発に努めてまいります。	
0403-02	加須インターネット博物館管理運営事業	生涯学習部生涯学習課
よく整備された博物館です。ちよくちよく閲覧したくなるような工夫があると一層充実すると思います。「るび」をつけると小さな子供が理解できます。期待しています。【仲山】		
令和2年度の取組状況等	無形民俗文化財（神楽、獅子舞等）の公開日程などのリアルタイムな情報発信を、引き続き進めてまいります。また、年齢を問わず多くの市民に理解していただけるように、文章や映像等の工夫を研究してまいります。	
0403-03	伝統文化継承支援事業	生涯学習部生涯学習課
加須市郷土かるたは加須の歴史を知る上で大変すばらしい。しかし、加須市郷土かるた大会は競技かるた大会になってしまった。本来の趣旨から外れてしまった。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	各小学校での「加須市郷土かるた」活用方法やかるたを通しての学校独自の取組状況などを把握するため、校長会と意見交換を行い、今後の方向性を模索していきます。	

施策4 図書館サービスの充実

0404-02	図書館管理運営事業	生涯学習部図書館課
マイナンバーカードでの貸出は、どのように利便性の向上につながるのでしょうか。利用者としての登録だけで済むのではないのでしょうか。【仲山】		
加須には立派な図書館が4館あります。加須市の規模・財政面から4館の存続を見直す必要があるのではないのでしょうか。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	令和2年4月1日現在の本市のマイナンバーカードの普及率は、23.6%となっています。 心の豊かさや生きがいを求める生涯学習のなかで、誰もが気軽に利用できる図書館においてマイナンバーカードの活用促進を図ることがマイナンバーカードの普及の一躍を担うものと考えております。 今後も関係課と協力し、マイナンバーカードの普及に努めてまいります。 令和3年2月策定の「第2次 加須市総合振興計画」においても、「今後の人口規模や財政規模に見合った図書館の適正な配置となるよう見直す必要があります。」と位置付けられており、今後も図書館のありかたについて検討を続けていきます。	

基本目標5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

施策1 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

0501-02	スポーツ教室等開催事業	生涯学習部スポーツ振興課
40年も前、各地域でソフトボールが盛んでした。スポーツ教室がきっかけとなり、新しいスポーツが各地域で盛んになることを期待しています。2022年のアジア大会のメダル種目に「eスポーツ」が含まれると聞きました。加須市でも取り組んでみてはいかがでしょうか。取り組んでいる人は多いと思います。いろいろ問題はあると思いますが。 女子を対象にした野球教室・ソフトボール教室を開催し、女子硬式野球振興の下地作りをしてはいかがでしょうか。【仲山】		
令和2年度の取組状況等	埼玉西武ライオンズ・レディースと連携し、小学生の男女を対象とした野球教室が開催されております。 女子野球タウンに認定されたことにより全日本女子野球連盟と一緒に女子を対象にした野球教室の開催を検討してまいります。 女子が参加できる機会を促進し、女子硬式野球振興を推進してまいります。	

0501-05	市民体育祭支援事業	生涯学習部スポーツ振興課
目標値と実績がかけ離れています。事業の見直しが必要ではないでしょうか。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	市民体育祭における参加人数の目標値につきましては、全地域が開催されたときの人数としているため、事業の中止などがあると、実績に大きく影響するものとなっています。目標値を上昇傾向として設定している事業が多いことも事実ですので、事業内容により目標値を見直してまいります。	

0501-08	クライミング普及事業	生涯学習部スポーツ振興課
制限があるのですが、できればホームページの画像を増やせないでしょうか。引き続き加須の知名度アップ、地域の活性化にご尽力ください。【仲山】		
令和2年度の取組状況等	ホームページの画像を増やすことは可能ですので、クライミングのまちとして多くの皆様に知っていただけるよう、大会や教室などの写真について積極的に掲載し、情報発信をしてまいります。	

施策3 スポーツを活用した地域活性化の推進

0503-02	女子硬式野球振興事業	生涯学習部スポーツ振興課
体育館の中にある展示場の展示物を工夫する必要があります。歴史ある展示物がもったいない。 西武ライオンズと提携したので女子硬式野球の発展を期待します。加須市が女子硬式野球の聖地になってほしい。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	「女子硬式野球ミュージアム」は、春の選抜大会や夏のユース大会の開催にあわせ、加須市民体育館談話室を利用して展示を行っており、その期間以外は利用者の休憩場所、会議などの利用に支障のない範囲で行っています。 埼玉西武ライオンズ・レディースと連携したこともあり、女子野球の歴史はさらに重要になると考えられるため、女子野球を推進できるよう検討してまいります。	

0503-04	オリンピック・パラリンピック関連事業	生涯学習部スポーツ振興課
加須の児童・生徒をコロンビアにホームステイをさせる。児童・生徒からコロンビアを紹介して交流を深める。【加藤】		
令和2年度の取組状況等	コロナ禍でも可能な交流の方法として、直接対面することのないビデオメッセージなどの交流方法を検討しております。	

7 学識経験者の意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項」の規定に基づき、教育に関する学識経験を有する方の知見を活用するため、令和2年度の取組状況について、元加須市教育委員の加藤久佳氏及び前加須市教育委員の小林義之氏からご意見をいただきました。

(1) 加藤久佳氏

① 評価に関する全体的な意見

令和2年度は多くの事業がコロナによる影響を受けたと思います。

小中学校で、林間学校・修学旅行の中止。そして、運動会・体育祭や卒業式・入学式が縮小されて開催された事が寂しい事でした。

そして、学校行事の多くが中止になりました。価値がない学校行事はありませんが、コストパフォーマンスの悪い行事はありました。これから、行事を選別して実施して欲しいです。

これから"GIGAスクール構想”が学校教育にどのような影響を与えるか関心があります。加須市はハード・周辺機器の導入が進んでいると思います。このことで学力アップを期待します。

また、下記の事柄が大きく変わるような気がします。

先生と児童・生徒との関係。授業の進め方。体育・美術・音楽などの授業。

② 各事業についての意見・感想

基本目標1 確かな学力と学ぶ力を育成します

施策2 幼児教育の推進

0102-02	幼稚園預かり保育事業	こども局保育幼稚園課
加須市は昔から幼稚園がある。 数年間も預かり保育受入率が100%である。これからも続けてください。		

施策 6 社会の変化に対応する教育の推進

0106-01	学校 I C T 教育活用事業	学校教育部学校教育課
ハード・周辺機器を有効に活用してください。 予算額が大きい事業であるので学力のアップを期待します。		

施策 8 キャリア教育・職業教育の推進

0108-01	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育部学校教育課
職場体験学習は、商店・病院などではなく、市の施設（非営利）での体験学習を多くしてほしい。		

施策 9 安全で快適な教育環境の整備・充実

0109-01	小学校施設整備事業	生涯学習部教育総務課
0109-02	中学生施設整備事業	生涯学習部教育総務課
近年、エアコン・G I G A スクール構想などの事業でかなり予算を使っていました。 各学校の改修工事も確実に実施してください。		

基本目標 2 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む取組を推進します

施策 2 いじめ・不登校の根絶

0202-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育部学校教育課
卒業後の生徒の追跡調査もしてください。		

0202-02	教育センター運営事業	学校教育部学校教育課
以前、教育センターを訪問した時、センター員が少なく児童・生徒の対応が十分にできるか不安を感じました。		

施策5 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

0205-01	学校いきいきステーション事業	学校教育部学校教育課
新規学校応援団の人を増やすより、活動している学校応援団の人を減らさない活動をしてください。		

0205-03	あいさつふれあい推進事業	学校教育部学校教育課
校外よりも、校内でのあいさつを大切にしてください。		

0205-07	通学路安全対策事業	学校教育部学校教育課
市内のある小学校の通学路にガードレールを設置してあります。しかし、雨の日のガードレールに水たまりがあるので、ガードレール外を歩いています。その辺の調査をして下さい。		

施策6 青少年の健全育成の推進

0206-01	成人式開催事業	生涯学習部生涯学習課
加須市以外出身者も出席できる環境を整備してください。		

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

施策2 芸術文化の振興と郷土愛の醸成

0402-03	まちかど美術館推進事業	生涯学習部生涯学習課
お店によって、児童の作品展示に温度差を感じる。児童がお店で作品を見たとき悲しさを感じる展示があります。お店に悪気は感じないが、そろそろ難しい事業ではないでしょうか。		

施策3 文化財の保存・活用

0403-02	加須インターネット博物館管理運営事業	生涯学習部生涯学習課
加須の歴史・文化知ることができる。 重要なのはコンテンツの更新やリアルタイム情報発信だと思います。加須の歴史・文化を発信してください。		
0403-03	伝統文化継承支援事業	生涯学習部生涯学習課
近年、かるた大会が競技になっている。伝統文化を継承する方向に活動する変更してほしい。		

基本目標5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

施策1 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

0501-06	市民体育祭支援事業	生涯学習部スポーツ振興課
時代にあっていない競技もある。スポーツで地域交流をするのは難しいのではないのでしょうか。		
0501-08	クライミング普及事業	生涯学習部スポーツ振興課
クライミング大会の日でも、街中でも大会をアピール展示などが少ない。もっと大会開催のアピールをしてください。		
0501-10	加須ふじの里駅伝大会支援事業	生涯学習部スポーツ振興課
駅伝大会の開催は少ないと聞いています。加須をアピールして開催してください。		

施策3 スポーツを活用した地域活性化の推進

0503-02	女子硬式野球振興事業	生涯学習部スポーツ振興課
全国女子硬式野球ユース大会、全国高等学校女子硬式野球選抜大会と全国レベルの加須市で行われている。埼玉西武ライオンズ・レディースと一緒に女子硬式野球を盛り上げてください。		

(2) 小林義之氏

① 評価に関する全体的な意見

今年度の最大の特徴はコロナ禍による影響を各分野で強く受けたことである。そこで教育行政全般に対する影響・対応策・今後の課題を更に一層検討してはどうでしょうか。

例：園児・児童・生徒から高齢者に至るまで外出自粛下での体力維持向上について

例：外出自粛下でこそ活かしたい生涯学習について

② 各基本目標についての意見・感想

コロナ禍の異常事態に関係者各位の各種対応は適切であったと思います。ご努力に心より感謝申し上げます。その様な状況下で、個々の対応に対する評価というよりも、一般論としての私見を以下に述べさせていただきます。

基本目標1 確かな学力と学ぶ力を育成します

誰しも得手不得手があります。

児童生徒にとって望ましい授業は自分の学力とやる気に合ったレベルの授業が受けられることと思います。

教師には負担となりますが、高学年になるほど一人一人に対応した配慮（授業難度及び対応）が必要になると思います。

基本目標2 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進します

目標は一人一人の健全な心身の成長（自立できる成人を目指す）にあると思います。

具体的には「道徳」「体育」「地域（社会）との関わり」を重視した教育が大事と考えます。いじめ問題や不登校対策もこれらの一環教育と関連すると思います。

基本目標3 人権を尊重した教育を推進します

人権教育は「道徳教育」の中で学ぶことが自然ではないかと思います。地域差（特別な事情）があればその地域で重要視すれば良いと思います。

人権教育と道徳教育とは本来その役割に差があり両者とも同等に重要ではないでしょうか。

基本目標 4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

学びや芸術・文化などに対する興味関心は個人差があるので、教育委員会の役割としてはできるだけ広い分野の活動の種（活動内容、サークルなど）を紹介することを期待します。

生涯学習コンテスト（展示、説明、サークル紹介など）もトライしてはどうでしょうか。

基本目標 5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

スポーツ・レクリエーションの普及には指導者（コーチ）の力量に寄与することが大きいと思います。技術力向上や体力増進などの効果に限らず、人的交流にも繋がり、地域まちづくりの基盤ともなります。

高齢化と健康寿命を意識した振興策（一人でもできるスポーツ）が年々重要となっています。

8 おわりに

加須市では、本市の教育を総合的かつ計画的に推進するため、平成29年3月に「加須市人づくりプラン」を作成しました。例年、事務事業の点検及び評価は、このプランを踏まえ、教育委員会関連の全事業を対象としています。令和2年度においては、全98事業のうち54事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各種行事の中止や延期等をせざるを得ない状況となったことから、「コロナによる影響」とする評価区分を設け、全体評価を行いました。

今回、元加須市教育委員の加藤久佳氏及び前加須市教育委員の小林義之氏の2名の学識経験者から貴重な御意見をいただきました。これらのご意見を生かしながら、自己評価で見つかった課題とともに改善につなげてまいります。また、点検及び評価の様式や方法についても、よりわかりやすく、より適切なものとなるよう、引き続き検討を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な状況の中、教育行政におきましても、3密の回避や新たな生活様式を踏まえた上での事業推進やICTの更なる活用による各事業の活性化や見直し等が求められております。また、コロナ禍による経済格差の広がりや外出自粛等により、教育格差やコミュニケーションの希薄化、心身の活力低下等、新たな課題も顕在化し、これまでとは異なる方法、異なる取組も必要になっています。

今後とも、教育委員会の事務事業の点検及び評価を踏まえながら、これまでの取組を活かしつつ、新たな取組の検討と実現を進め、効果的な教育行政を推進してまいります。

令和3年9月
加須市教育委員会